

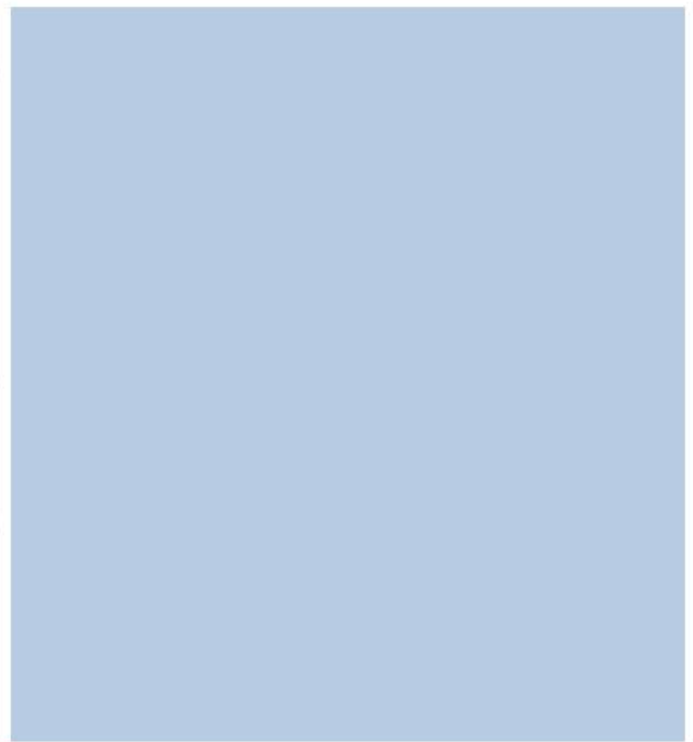
世界ウイグル会議

World Uyghur Congress(WUC)



2011

東トルキスタンにおける 表現の自由の侵害



東トルキスタンにおける表現の自由の侵害

世界ウイグル会議（WUC）発行

©2011年11月 世界ウイグル会議（WUC）

Adolf-Kolping-Str. 9 | 80336 Munich, Germany

電話 : +49 89 54321999 | Fax : +49 89 54349789

contact@uyghurcongress.org | www.uyghurcongress.org

Twitter @UyghurCongress | Facebook www.facebook.com/uyghurcongress

序文	7
----------	---

収監されたウイグル人ジャーナリスト、ブロガー、作家、ウェブサイトスタッフ

それぞれの事例	16
アブドゥルガニ・メメットミン	17
ディルシャット・ペルハット、ヌレリ・オブル、ニジャット・アザット	18
ハイレット・ニヤズ	19
グルミラ・イミンと4人のウイグル人ウェブサイトモデレーター	20
メフブベ・アブレシュ	22
メメトジャン・アブドゥウツラ	23
メメット・トゥルグン・アブドゥウツラ	24
2009年7月以降に抑留されたウイグル人ウェブサイトスタッフ	24
ヌルムハメット・ヤシン	25
トゥルスンジャン・ヘジム	26

言論・表現の自由の権利を行使して収監されたウイグル人

それぞれの事例	27
アブドゥヘリル・ズヌン	28
アブドゥガニ・イミンとオブルカシム・アブリズ	28
アブドゥラ・ジャマル	29
アブリキム・アブドゥレイム	30
アリム・アブドゥレイム	31
エクベルジャン・ジャマル	32
ハルムラト・イミン	33
イサ・フセン	34
ママタリ・アハット	34
ヌルハマト・ユスブ	35
トゥルスンジャン・ヘセン	36

序文

2009年7月5日ウルムチ事件

ウイグル人は近年、東トルキスタン（中国の新疆ウイグル自治区：XUARとしても知られる）において、言論の自由と宗教的・文化的アイデンティティの表現を犯罪とする中国政府の圧力、制度化された深刻な政治的、経済的そして社会的な抑制に苦しめられてきた。ヒューマンライツ・ウォッチ（Human Rights Watch、HRW）やアムネスティ・インターナショナル（Amnesty International、AI）等の大規模な人権団体による数多くの報告書によると、情報提供したウイグル人たちは「政治活動や民主化運動に関与したり、宗教を信仰するだけで、中国当局により刑務所に入れられたり処刑されたりしている」と訴えている。

ウイグル人に対する圧力は、2009年7月に東トルキスタンの首都ウルムチで起こった事件以降、更に大きくなっており、多くのウイグル人が7月5日ウルムチの騒乱により行われている激しい弾圧から逃れるために中国を脱出している。

2009年7月5日の騒動は、中国南部の広東省韶關市の工場で働くウイグル人が死に至るまでの暴行を受けた事件に、政府が何の対応もしなかったことに対するウイグル人による平和的なデモから始まった。しかし、中国の治安部隊の暴力的な介入によって抗議はエスカレートした。2009年7月5日の騒動とそれに続く数日で何百人もの人々が殺された（中国の新華社の発表によると殺されたのは197人であったとされるが、世界ウイグル会議（WUC）は目撃者の報告をもとに1000人以上の人々がこの騒動で死亡したと推測している）のは、東トルキスタンにおいてウイグル人の人権が否定され続けていることに帰する。

目撃者は海外メディアやアムネスティ・インターナショナルのような国際的人権団体に対し、中国の治安部隊はデモ参加者に対し、法的に正当と認められない殺害を行ったと報告している。さらに、抗議に参加したとされる人々は不正な裁判にかけられている。現在までに最低でも24人のウイグル人が死刑を宣告され¹、さらに8人が2009年7月の事件の際に殺人とその他の犯罪を理由に2年の執行猶予付き死刑を宣告されている²。これらの被告達は不透明な裁判³のちに有罪判決を受け、その手続上、政治的またその他の締め付けに苦しんでいる。ほとんど全ての者は裁判の始まったその日かその翌日に判決を受けている⁴。数人の裁判は事前の公表もされていない⁵。控訴裁判所は今までのところ明確な再調査もなく、宣告された判決を支持している⁶。

公式な情報によると、今までに死刑宣告された24人のうちの8人のウイグル人が、適正な手続きなしに処刑されている⁷。事件後1ヶ月も経たないうちに彼らは裁判にかけられ、有

罪判決を受け、刑を下された⁷。彼らの判決は新疆ウイグル自治区高等人民法院と最高人民法院でも支持され、彼らは処刑された。アムネスティ・インターナショナルはこの裁判から刑の執行までの期間を「極めて短い」と指摘している。特に極刑に関しての法的手続きの素早さは、適正な手続が欠如していることの象徴である。世界ウイグル会議は、死刑宣告された24人のウイグル人は既に処刑されていると考えている。世界ウイグル会議はまた、ウルムチでの事件によって多くのウイグル人が内密に死刑宣告されたと推測する。

アムネスティ・インターナショナルによると、現代の中国においては、チベットでの一つの事例を除き、東トルキスタンが「良心の囚人」が処刑されている唯一の地域である。アムネスティ・インターナショナルは繰り返し「中国で死刑を宣告された人間は誰も公平な裁判を受けていない」と述べている。

2009年7月5日の事件以来、ウイグル人に対しては未成年も含め、大量で無差別的な拘束と強制連行が行われている。彼らは厳しい政治的な締め付けなどで苦しめられた裁判の後、恣意的に死刑、終身刑、懲役刑の判決を受けた。また、ウイグル人のウェブサイト管理人、ブロガーやジャーナリスト等を含む人々が、表現の自由を厳しく抑制され、拘束、刑の宣告を受けるなどしている。

表現の自由に関する中国の法律制度

中国憲法第35条は言論、集会、結社、出版の自由⁸を保証しているが、それらの権利は国家の関心と、中国共産党の統治権と利害に従属している。さらにほとんどの裁判事例で、憲法は法的な原則として主張されるべき権利の引き合いに出されることはなく、行使されることもない。中国では司法制度は独立しておらず党の指示に従っている（特に政治的に過敏な問題である表現の自由など）。各地方政府は、様々な検閲の指針を制定している⁹。

不明瞭な刑法の規定と国家機密に関する法律は、政府を批判する記事の投稿や、人権侵害を公表することや、反政府的なE-mailのやり取りや、検閲されている資料をダウンロードすることを含む、インターネットでの活動を理由として国民を拘束するために利用されている。裁判や審問は法的に適正な手続に欠けており、ただ判決を言い渡すにすぎないことも多い¹⁰。

2010年4月22日に、政府は国家機密保持法（保守国家秘密法）の修正案を受け入れた。改訂されたこの法律は、国家機密漏洩¹¹に関する事件について「公安関連機関、国家保安機関、検察官に協力する」ことを、インターネットと電話会社に要求している。

改訂された国家機密保持法は2010年10月10日から効力を発しており、電話通信会社に「国家機密」漏洩の調査に協力するよう求め、これに違反した場合は起訴されることを憲法28条に新しく追加した¹²。

当局はインターネット上の報道を厳しい管理のもとに置き、政府の支持を受けた大きなウェブサイトにはのみ観閲の許可を与えている。Facebook、Twitter、Youtube、Flickr等を含む多くのソーシャル・メディア・サイトへのアクセスは遮断されている¹³。

さらに中国では、インターネット上の法律違反に対する実刑判決は他の多くの国々よりも刑期が長い傾向にあり、他の刑罰はだいたい6ヶ月から4年である¹⁴ のに対して、インターネットに関する事件のほとんどは最低でも3年の実刑であり、終身刑が下されることもある。拘束されると容疑者は身体的な暴力や、治療を受けられないといった虐待を受けることが多い。このような政府から標的とされた人々はインターネット使用者の中でも少数の割合ではあるが、際立って厳しい刑罰は、結びつきの強い活動家やブログ社会を怯えさせるには十分であり、広範に自主規制が広まってきている。より長い懲役刑は様々な意味での超法規的な嫌がらせである。いくつかの見積もりによると、何千もの人々が安全保障当局者、雇用者、大学の代表者などから呼び出され尋問されたり警告を受けたりしている¹⁵。

国家安全危害罪によって、ウイグル人の平和的な反対意見を沈黙させること

現在までに2009年7月の事件に関連して判決を受けた人々は、国家安全危害罪（危害国家安全犯罪、ESS）で有罪となっている（「国家機密漏洩」は中国の刑法の「国家安全危害罪」に含まれる）¹⁶。中国当局は定期的かつ恣意的にこの不明確な規定を用い、ウイグル人の平和的な人権活動を犯罪として彼らを起訴し、投獄している。国家安全危害罪は中華人民共和国の刑法第102-113に定義されており、その多くが最高で終身刑や死刑が規定されている¹⁸。国家安全危害罪は「国家政権転覆」、「分離主義」、「国家機密漏洩」を含む¹⁹。国連特別報告者が中国を訪問した際の、拷問とその他の残酷で非人道的で品位を下げるような扱いや、刑罰についての報告が2006年3月10日に行われた。報告者は「不明瞭な定義は、とくに宗教、言論、集会の自由のといった権利への弾圧に、この国家安全危害罪を適用できるようにしている」と述べ、このような「国事犯罪」は廃止すべきであると提言した²¹。

近年、ウイグル人に対する当局の国家安全危害罪の告発は劇的に増加している。2008年に中国に関する議会・政府調査委員会（U. S. Congressional - Executive Commission on China, CECC）は、新疆ウイグル自治区の裁判所で多くの国家安全危害罪の判決と、新疆ウイグル自治区検察当局による多くの国家安全危害罪の起訴状が、2007年から全国的に発行されたと報告している。更には人権団体「対話（Dui Hua）」によると、新疆ウイグル自治区高等人

民法院の裁判所長は、2009年の東トルキスタンでの国家安全危害罪の裁判は前年と比べ63%も増えていると記録している。「対話」はまた、新疆年鑑によると1998年から2003年にかけて、国家安全危害罪の裁判の半数以上が東トルキスタンで行われているとも報告している²²。

2010年3月7日、新疆ウイグル自治区政府主席のヌル・ベクリ（Nur Bekri）は報道陣に対し、2009年7月の騒乱中に起きたとされる97件の事件で198人が有罪判決を受けたと伝えた。主席は「調査、起訴、裁判は継続しており、有罪判決を受けた数は最終的にもっと高くなるであろう」と発言した²³。何名の被告が死刑判決を受けたのか、処刑されたのか²⁴について言及することは避けられたが、前述のとおり公式のメディアは、26人（名前から判断するとウイグル人24人、漢人2人）が死刑宣告を受け、9人（名前から判断するとウイグル人8人、漢人1人）が処刑されたと伝えている²⁵。

新疆ウイグル自治区政府の主席ヌル・ベクリは2010年3月7日に「(起訴された)198人は公開裁判の原則を厳格に守り処理される」としたが、中国のメディアは2009年7月の事件に関連する有罪判決をこれよりも少数しか報告していない²⁶。この報告数の食い違いは、2009年7月の事件の被告への起訴について不透明であることを示している。

2011年1月16日に中国メディア²⁷は、東トルキスタンで行われた「国家機密に対する犯罪」に対しての裁判の統計を発表した。2008年8月にカシュガルでおこった警察官16名が死亡したとされる襲撃を含む376の「国家安全危害罪」の裁判が相次いで行われたと2010年に公式に発表した。「対話」によると、この報告数は2009年に判決がおきた437件と比較すると16%の減少となるが、2008年に比較すると30%上回ると報告されている。つまり、死者の出た2009年7月5日騒動以降の「分離主義」への取り締まりは、主に過去2年間²⁸における国家安全危害罪に関する事件の増加によるものであると推測できる。「対話」はまた、「被告人の数は376よりももっと多いとみられる。新疆ウイグル自治区における1998年から2003年の間に行われた国家安全危害罪の関連の裁判では、被告人は平均して3人以上となっている。このことから、新疆ウイグル自治区では2010年の国家安全危害罪の関連の裁判では1000人以上の被告がいたと推測でき、圧倒的な大多数が有罪判決を下されたと考えられる」²⁹としている。

アムネスティ・インターナショナルはプレスリリースにおいて「当局は、新疆での裁判は公正であったと証明しなければならない」「彼らが自分の意見を表現しただけで罰せられることを懸念する」と言及した。アムネスティ・インターナショナルは中国当局に対し、「被告に弁護士を選ばせること、家族や弁護士との接触を認めること、被告の家族には拘束期間、罪状、裁判を適時に伝えること」など、国際的な標準からみても公正な裁判を行うよ

う要求した³⁰。

2009年7月の事件に続く東トルキスタンでの情報管制

2009年7月ウルムチでの抗議と民族間の混乱の余波が残る期間、中国当局は、住民のインターネットやE-mailへのアクセス、国際電話とショートメッセージのやり取りなどを遮るといふ、10か月の情報管制を東トルキスタンで行った。

当局は2009年12月から東トルキスタンでの情報インフラを徐々に復活させているが、住民のインターネット、ショートメッセージ、電話での発言については2009年7月以前よりも厳しく警告を発し、規制を設けている。

新疆ウイグル自治区政権は、インターネットを使用して民族分離主義を扇動したり、国家安全を脅かしたり、間違った情報を流したりといった事項を禁止する法令を2009年9月に採決し、2009年12月1日に発行した。その法令は、これに違反した者への刑罰を明確に規定している³¹。また、当局は定期的にウイグル人の平和的な反論を、テロリズム、宗教過激主義、分離主義³²と結び付けており、この新しい法令は確実にウイグル人の平和的な人権活動を抑制する意味をもち、弾圧に利用されることとなる。

さらに、2013年3月、カシュガル公安局、カシュガル検察院、カシュガル中級法院は、中国の刑法に基づいて、その地域でインターネットや携帯電話などの技術を使って「分離主義を扇動する」ことへの処罰を発表した。その指導では国家を分裂する目的でこれら技術を使うことを定義し、「資料、公開討論、分離主義の扇動」、「集会、行進、デモを扇動」、「暴力、器物破損、略奪、放火の扇動」を広めること、文筆で分離主義の内容を広めること、党と政府を中傷したり攻撃することなどが含まれている³³。

新疆ウイグル自治区政府が2010年5月14日に発表したところによると、政府は「インターネット環境を傷つけたり、民族の統一や社会的安定や国益に害を加えないこと」³⁴という警告と共に、10ヶ月に渡って遮断・制限されていたインターネットのアクセスを復活させた。インターネットの復旧は、2009年7月5日以降に逮捕されたかなりの数のウイグル人ウェブサイトスタッフとジャーナリストが拘束され、さらにその中の数人が判決を受けている³⁵最中に行われた。

さらに、中国のインターネット検閲により東トルキスタンでのインターネット利用者は、中国当局によって「政府を転覆する」とされたウェブサイトや情報へのアクセスを、グレート・エレクトロニック・ウォールによって遮断されることとなった。ウイグル人やウイ

グル問題に関するウェブサイト、ブログは主要な標的として検閲され続けている³⁶。検閲されているキーワードとしては「ラビア・カーディル (Rebiya Kadeer)」、「世界ウイグル会議」、「ウイグル人権プロジェクト (Uyghur Human Rights Project)」、「東トルキスタン独立」、「RFA (Radio Free Asia、ラジオ・フリー・アジアはウイグル関連のニュースサービスを行なっている)」³⁷などが挙げられる。ウイグル語、中国語、英語を含む言語で書かれ、ウイグル人コミュニティ関連の問題に熱心に取り組んでいるウェブサイトの大部分は、遮断されるか検閲されるかして見るができない状態が続いている³⁸。

ラジオ・フリー・アジアが中国政府の職員に対して行ったインタビューによると、当局は2009年7月の事件に関するインターネット上での議論を遮断し、2009年7月の事件に関するキーワードに規制をかけている³⁹。さらに、香港を拠点とする明報新聞は、「2010年6月19日に新疆のメディアが、2009年7月の記念日から1ヶ月の間、この事件に関して、中央政府の通信社である新華社以外のメディアによるレポートを禁止する」との指示を受けていると報道した⁴⁰。

更に2010年1月から、当局はショートメッセージと国際電話のサービスに制限をかけ、その後、これらが「有害な」情報を人民に拡散し、民族の統一に害を与える情報が含まれているためであると発表した⁴¹。

概していえば、2010年1月下旬に国際電話の使用は再開された⁴²。しかしウイグル人組織からの情報によると、国際電話の通信は不安定である⁴³。アムネスティ・インターナショナルは2010年7月、「2009年7月の事件後にその地域の国際電話は定期的に監視されており、多くの人々は政治的に微妙なことに関して電話で話すことを恐れている⁴⁴」と報告している。また、E-mailのやり取りも頻繁に監視されている⁴⁵。国際的なメディアは2010年7月に、「当局は2009年12月下旬から、東トルキスタン内で多くの政府関連のウェブサイトにはアクセスできるようにしたが、政府は依然としてウイグル語の人気のあるニュースサイトや議論ができるサイトへのアクセスを遮断し続けている⁴⁶」と報道した。

東トルキスタンと中国での言論と情報の自由に関する現在の状況

フリーダム・ハウス (Freedom House) によると、中国のインターネット環境は世界で最も制限された状態のままであり、中国のインターネットは「イントラネット」であると言及している⁴⁷。2011年4月にジャーナリスト保護委員会 (Committee to Protect Journalists、CPJ) が発行した報告書によると、世界中の投獄されたジャーナリストのリストにおいて、2010年12月1日には少なくとも34人のジャーナリストが投獄されているとされ、中国はイランと共に際立っている⁴⁸。2009年、中国では24人のジャーナリストが投獄されており、

ジャーナリスト保護委員会は「投獄されたジャーナリストの人数の増加は、2009 年後半から 2010 年まで続いた一連のウイグル人・チベット人ジャーナリストの投獄によって促進されたためである」としているが、拘束者の裁判に関しては限られた情報しか入手できないため、最近まで詳細が判明していなかった。ウイグル人・チベット人ジャーナリストは、公式に禁止されている内容である、近年の民族問題や激しい地域騒乱を取り上げていた。「少数民族」のライターや編集者が反国家罪で起訴・判決を受けていくことにより、主流となる中国人ジャーナリストは沈黙を守っている⁴⁹。

国境なき記者団 (Reporters Without Borders、RSF) によると、ネットワーク市民を対象とした世界最大の刑務所は中国であり、2011 年 3 月には 77 人のネットワーク市民が投獄されている⁵⁰。中国ではじめて、ツイッターユーザーがソーシャルネットワークにメッセージを投稿したことで逮捕された。

さらに国境なき記者団は、世界で最も完成された検閲システムである中国のグレート・ファイヤーウォールについて強調し、中国は世界で最もインターネットの自由を侵害している国であるとしている⁵¹。「グレート・ファイヤーウォール」は URL フィルタリングと、「機密事項」とされる（特に政治的・社会的問題と関連している）キーワードの検閲を一体化し、当局によるモニタリングはブログやマイクロブログ（その中の多数の投稿やコメントの削除を行なう）、アクセス状況、ネット上での体制批判者の監視、オンラインプロパガンダなどに及ぶ。検閲は複数の省庁・組織により制度化・運営されており⁵²、政府機関・民間企業ともに何十万人もの人を雇用してオンラインコンテンツを監視・検閲・統制している⁵³。「五毛党」は、世論に影響を与えるために政府側のコメントをオンラインで投稿することによって賃金を得ているネットユーザーにちなんで名づけられ、現在も活動中である⁵⁴。コメンテーターの数は 250,000 人ほどに上ると推測している人もいる⁵⁵。

中国当局の要人によると、2010 年には、60,000 ほどのウェブサイトが「有害情報」を含むとして閉鎖され、推定 350,000,000 の記事・写真・動画が削除された⁵⁶。フィルタリングを正当化するために、体制は「ポルノや誤報流布に対する取り締まり」という口実を用いている⁵⁷。中国の統制下にあるメディアのような主だったニュースサイトは、中央宣伝部からどのようなトピックをどのような状況下で扱うことが可能か不可能かを明記した指示を口頭や文書で定期的に受けている⁵⁸。

中国はまた、インターネットや携帯電話使用者の匿名性にも取り組んでいる。2010 年 4 月 29 日、中国はインターネットや電話会社に国家安全保障に関連する事柄について当局への協力を求める機密保護法に修正案を適用した。インターネット・携帯会社は、ネットワーク上で国家機密に関連すると思われるやり取りがあれば伝達を遮断し、接続ログの記録を

とり、違反と思われる行為があれば関係当局に警告を発しなければならない。これらの会社はまた、ある種の内容を削除するよう強制されている可能性もある⁵⁹。中国当局は、プリペイド携帯電話によるコミュニケーションの掌握も強めている。2010年9月1日に施行された新たな条例は、SIMカードを購入する際にIDカードを提示し、詳細な個人情報を提供するようプリペイド携帯電話の使用者に求めている。既に所有している人には、登録に3年間の猶予が与えられる。当局が通話、SMS、データ交換を監視することに重点を置いていることは、政府に対する批判や行動する個人の特定を手助けするものであり、この新しい規則は事実上携帯電話ユーザーの個人情報保護を危険に晒す可能性がある⁶⁰。

2010年6月8日、中国国務院情報省（国務院新聞弁公室）は、インターネットに関する「白書」を発行し、その中で「地域の法の尊重」と「安定性の維持」の名目で、中国におけるオンライン検閲の必要性を主張した⁶¹。

インターネットや通信は中国全土で検閲されているが、特に東トルキスタンやチベットのような「政治的に敏感な地域」における言論の自由に関する状況は更に悪化している。フリーダム・ハウスによると、最も組織的な検閲を受けているトピックには「中国人権記録の独自評価」「チベットや東トルキスタンにおける少数民族の権利の侵害」「法輪功スピリチュアル団体」「1989年の北京大虐殺（天安門事件）」「台湾独立賛成意見」「社会体制に組織レベルで挑む様々な反体制派の唱導」などが含まれる⁶²。さらに政治的組織や少数民族は、中国国内で自由にアクセスできるウェブサイトが不十分なままである⁶³。

「ジャスミン革命」のウイグル人への影響

中国の主要都市において、意見の相違を示す極僅かなサインでさえ揉み消そうとする中国の厳しいセキュリティ対策の中で、また2011年春に中国国民が「ジャスミン革命」を起こし民主化を呼びかける中で、東トルキスタン当局はウイグル人とウイグル人による騒乱の可能性を前もって取り締まるために強硬手段を取った。近年、当局がウイグル人民主化運動指導者であるラビア・カーディルに対する宣伝攻勢を強めているウルムチの中心部で、2011年2月22日と23日に5人のウイグル人が拘束されたと言われている⁶⁴。

騒乱のわずかな兆候をすばやく阻止しようと、当局は東トルキスタン南部カシュガルの主要なウイグル都市でポンプ車や装甲車を配備した⁶⁵。ウルムチ住民によると、武装警察は通りだけでなく、公営バスでも見られるという⁶⁶。

ウルムチで逮捕された人々の中には、ホタンに住む23歳のハルムラト・イミン（Halmurat Imin）も含まれている。DVD「愛の10条件」やその他の「不法」とされる出版物・DVD押収のキャンペーンに伴って、彼は2月22日に「反革命的プロパガンダDVDの不法所持」と「国

家安全危害」の罪で拘束された。映画「愛の10条件」は、ラビア・カーディルの半生と葛藤に焦点を当てている。2月23日、4人の若いウイグル人もまた、「公共秩序騒乱」と「公務執行妨害」の罪でウルムチのデパート前で抑留され、近くで見守っていたウイグル人も強制的に解散させられた。

収監されたウイグル人ジャーナリスト、ブロガー作家、ウェブサイトスタッフそれぞれの事例

中国当局は2009年7月の事件に関連して、ウイグル人ウェブサイトスタッフやジャーナリストを抑留・処罰してきた。これらの人々が管理していたウイグル語ウェブサイトは、2009年7月5日に計画されていたウイグルデモ（平和的なデモであったが、中国治安部隊により容赦なく鎮圧された）に関するメッセージを掲載していたため、あるいは広東省韶関にある玩具工場で働いていた、最低でも二人、おそらくは数十人のウイグル人の出稼ぎ労働者が、漢民族の工場労働者によって残忍な殺され方をした事件（この韶関事件は、前述のデモでの抗議者たちの火種となった）についてレポートしていたため、当局により騒乱を扇動したとして起訴された。中国当局によるウイグル人ジャーナリストやウェブサイトスタッフに対する迫害は2009年7月の事件以来激化しているが、事件以前からも行なわれていた。

アブドゥルガニ・メメットミン (Abdulghani Memetemin) ⁶⁷

「国家機密を国外組織に提供した」として、2003年6月に懲役9年の判決



アムネスティ・インターナショナルの関係者によると、アブドゥルガニ・メメットミン（拘束時38歳）はウイグル人ジャーナリスト・教師で、2002年7月26日に東トルキスタンのカシュガルで抑留された。2003年6月4日、カシュガル中級人民法院は中国の刑法111条（第111条 国家機密・情報の窃取、探知、買収又は不法提供罪）に触れ、「国家機密を国外組織に提供した」として9年間の実刑判決を下した。ラジ

オ・フリー・アジアは、メメットミンが政治的権利を3年間剥奪されたと伝えた。メメットミンは拘束中、審理前に弁護士との面会を許されず、公判中も法的代理人をつけられることはなかった。彼は拘束中に拷問されたとされる。

判決によると、アブドゥルガニ・メメットミンはドイツの亡命ウイグル人が運営する東トルキスタン情報センター（ETIC）という、中国でのウイグル人に対する人権侵害のレポートを公表しているNGOに情報を提供していたとされる。メメットミンの投稿は、政府の事業のために無報酬で強制労働を課されているウイグル農民や、ウイグルの歴史書の押収や焚書、イスラム教の宗教行為の制限、失業者の直面する困難といった様々な問題について触れていたとされる。ETICは、2003年12月に中国当局により、証拠不十分のまま「テロ組織」というレッテルを貼られていた。

アブドゥルガニ・メメットミンに対する告訴は18項目からなり、東トルキスタンにおける人権侵害に関する記録やETICの文書を中国語に翻訳したこと、中国国内のニュース記事や中国当局によるスピーチ原稿をETICに送付したこと、ETICに新規のレポーターを募集しようとしたことなどが含まれる。

アムネスティ・インターナショナルは、アブドゥルガニ・メメットミンを人権擁護者であるとみなしており、東トルキスタンのウイグル人コミュニティに対する人権侵害を平和的に報告したとしている。彼はまた、基本的人権である表現の自由と結社の自由の権利を行使したために拘禁され、人権を侵害された良心の囚人でもある。

アブドゥルガニ・メメットミンは二児の父で、新疆第四監区で刑期を過ごした。2011年7月25日が釈放期限であったが、釈放されたか否かは定かではない。彼はドイツのウイグルペンクラブと独立中国ペンセンター（ICPC）の名誉会員である。

ディルシャット・ペルハット(Dilshat Perhat)⁶⁸、ヌレリ・オブル(Nureli Obul)⁶⁹、
ニジャット・アザット(Nijat Azat)⁷⁰

「国家安全危害罪 (ESS)」として、2010年7月に懲役各5年、3年、10年の判決



Dilshat Perhat

2010年7月23日あるいは24日、東トルキスタンのウルムチ中級人民法院において、3人のウイグル人ウェブサイト管理者、ディルシャット・ペルハット(ウェブサイト「ディヤリム(Diyarim)」の管理者)、ヌレリ・オブル(ウェブサイト「サルキン(Salkin)」の管理者)ニジャット・アザット(ウェブサイト「シャブナム(Shabnam)」の管理者)が、「国家安全危害罪」としてそれぞれ5年、3年、10年の実刑判決を受けた。

本件に関するソースは、彼らは2009年7月にウルムチで行なわれるデモに関する投稿を許可した、とい

うような、東トルキスタンにおける困難に関する投稿を削除しなかったために刑に処されたとしている。

ディルシャットの兄弟であり、現在イギリスに住むディルムラット・ペルハット(Dilmurat Perhat)は「ディヤリム」のもう一人のウェブ管理者であるが、彼はアメリカウイグル協会(UAA)に、彼の兄弟のディルシャットは「ディヤリム」の掲示板上の、2009年7月5日にウルムチで計画されていた平和的抗議の告知に関する投稿を何度も削除しており、また、削除した投稿に関して情報を提供するため中国の警察に何度か連絡を取っていたと述べた。ディルムラットはUAAに対し、「中国の警察は、デモの計画について知っているので心配する必要はない、と言った」と伝えていた。



Nijat Azat



Nureli Obul

2009年8月7日、ウルムチの正体不明の人物がディルシャット・ペルハット(拘束時27歳)を自宅から連れ去った。それ以前の2009年7月24日から8月2日に、当局はウルムチでのデモと騒乱に関して彼を尋問していた。ニジャット・アザットとヌレリ・オブルもまた、その頃に抑留されたとされている。

ディルシャットの兄弟によると、彼は自治区内のチャンジー(昌吉)市チャンジー監獄(ウルムチから40kmほど離れた場所にある)で刑期を過ごしているという。1~2ヶ月に一度、20分ほど家族の訪問を受けている。

ヌレリ・オブルとニジャット・アザットがどこで刑期を務めているかについては分かっていない。

ハイレット・ニヤズ (Gheyret Niyaz) ⁷¹

「国家安全危害罪 (ESS)」として、2010年7月に懲役15年の判決



ハイレット・ニヤズ (別名ハイライティ・ニヤジ、Hailaiti Niyazi) は1959年生まれのウルムチのウイグル人ジャーナリストで、2009年10月1日に自宅から連れ去られた。10月4日、警察は彼の家族に、彼は国家の安全保障を危険にさらしている容疑にかけられており、「多くのメディアのインタビューに応じすぎた」ために抑留されていると告げた。

ニヤズが管理者であった「uyghurbiz.net」に報告されているニヤズの妻リサレットへのインタビューによると、2010年7月23日、ウルムチ中級人民法院は、国家安全保障危害罪 (ESS) として、懲役15年の判決を一日の裁判で下した。彼は自分で選んだ法的代理人や正当な法の手続きを与えられず、彼の裁判は政治的問題として大きくなったという背景を無視して刑を執行された。

判決は、香港の「[亜洲週間](http://www.asia-weekly.com)」が2009年8月2日に掲載した、ニヤズに対して行なわれたインタビューに基づいて下されたとされる。インタビューの中でニヤズは、2009年7月5日のウルムチでの激しい民族紛争の起こる以前に、問題が起こる可能性について新疆ウイグル自治区 (XUAR) の当局に対して警告を発する努力をしたことについて語った。ニヤズはまた、彼が繰り返し警告を発しているのにも関わらず、当局は騒乱を防ぐために何の行動も起こしていないと語った。

ハイレット・ニヤズは、2009年6月まで「uyghurbiz.net」というウェブサイト (2009年7月の騒乱を扇動したと当局が摘発したため、後に政府の監視下に置かれた) の編集者・管理者として働いていた。ニヤズは主に中国語で会話・筆記を行っており、漢民族とウイグル人の間の理解を深めるよう主張する穏健派として広く知られていた。ニヤズは、国の統制下にある新疆法律報の前責任者であり、新疆経済報のジャーナリストでもあった。

中国人権擁護者 (Chinese Human Rights Defenders)、アムネスティ・インターナショナル、ヒューマンライツ・イン・チャイナ (中国人権)、国境なき記者団、フリーダム・ハウス、ジャーナリスト保護委員会は、ニヤズの投獄を懸念する声明を出した。

彼は、ウルムチ PSB 拘置所に拘束されていたことが確認されたのを最後に、現在の所在は不明となっている。

グルミラ・イミン(Gulmira Imin)と 4人のウイグル人ウェブサイトモデレーター⁷²

「分派主義、国家機密漏洩、違法なデモを組織した」として、2010年4月に終身刑の判決



中国治安部隊は、2009年7月5日のウルムチでのデモの組織に関わったとの疑いで、2009年7月14日にグルミラ・イミン（1978年生まれ）を東トルキスタンのアクス市で抑留した。

逮捕された際、グルミラはアクス市の地方政府の職員として2000年から勤務していた。さらに、ウイグル語のウェブサイト「サルキン」に詩や短編を投稿したり、2009年春の終わりにモデレーターとして「サルキン」に招かれたりしていた。グルミラはネット上で、政府の政策に批判的であった。

他のウイグル語サイトと同様、「サルキン」は韶関事件に関して政府が行動を起こさないことに抗議する2009年7月5日のウルムチでのデモに参加するようウイグル人に呼びかける告知を掲載していた。

グルミラは、多くのウイグル人が合法であるとみなしていたデモに参加するために7月5日にウルムチにおり（デモの告知は、中国当局に削除されることなくインターネット上で数日間なされていたため、デモは当局が許可していると多くの人々は信じていた。）、デモへの荒々しい弾圧を目撃した。彼女は、その日のデモのコース上からノルウェーに住む夫と数回電話で会話しており、ウルムチで起きていることを告げていた。会話中、夫は銃声をはっきりと耳にしており、グルミラは多くの負傷者、数名の死者を目にし、デモ参加者は逃げ惑い、周囲は混乱していると伝えた。

2009年7月5日の出来事の後、グルミラは3ヶ月の間失踪した。抗議の後に殺されてしまったのだと家族は信じていた。ノルウェーに住む彼女の夫は彼女の居場所を知るために、電話やメールでグルミラやその家族と連絡を取ろうとしたが、7月5日から6日の夜に中国当局による東トルキスタンの情報管制が強行され、それから10ヶ月もの間、東トルキスタンの住民はネットも電話も通じない状況で外部から完全に遮断されていた。

彼女の家族は、2009年10月に放送された中国中央電視台（CCTV）の「7月5日の騒乱—最初から最後まで」というドキュメンタリーに囚人服を着たグルミラが映ったのを見て、よ

うやく彼女が拘禁されていることを知った。



番組によると、7月5日のウルムチ騒乱は国内外の分離主義勢力によって組織され、グルミラは3つのデモの計画のミーティングに参加した、6人の首謀者のうちの1人であり、国家機密を夫に漏らしたとされた。すなわち、7月5日のデモの最中にかけてられたグルミラから夫への電話によって、情報を漏洩したとされている。

中国中央電視台はまた、グルミラを「暴動」を扇動した、あるいは2009年7月5日の出来事を画策したとして、中国当局が非難している世界ウイグル会議(WUC)と彼女を結びつけ、虚偽の捏造をした。

彼女の判決は、ラジオ・フリー・アジア(RFA)が2010年8月8日に発行した記事によってのみ公にされた。2010年4月1日、ウルムチ中級人民法院は中国刑法103条、111条、296条に触れ、「分離主義、国家機密漏洩、違法なデモを組織した」としてグルミラに有罪判決を下し、終身刑を言い渡した。彼女の弁護士は裁判中在席していたが、それ以前に彼女と面会したことは一度もなかった。グルミラと共に判決を言い渡された4人のウイグル人の被告人は、アフメット・トゥルスン(Ahmet Tursun)、ムフテル(Muhter)、トゥルスン・メフメット(Tursun Mehmet)、グルニサ・メメット(Gulnisa Memet)といい、全員がウェブサイトのモデレーターであった。メメトジャン・アブドゥッラ(詳細は下記のプロファイル参照)も彼女と共に判決が下された。

グルミラ・イミンは裁判中、超満員でシャワー施設のない警察拘置所での拷問や虐待について、法廷で証言したと言われている。拘禁中、彼女や他の抑留者は飲み水として塩気の混じった水を与えられ、トイレに行くことも許されず、殴打され、けが人は手当てもされずに放置された。彼女は、内容も知らされない書類に署名するよう強要された。

判決以降、グルミラが弁護士との面会を許可されたのは2度だけであった。家族からの訪問は、3ヶ月に1度のみ許可された。彼女は判決に不服を述べたが(日付は知られていない)、上訴は棄却された。

グルミラは現在、ウルムチの新疆女子監獄(新疆第二監獄)に抑留されている。

メフブベ・アブレシュ (Mehbube Ablesh) ⁷³

「分派主義を扇動した」として、2008年8月に3年間の実刑判決の判決



ラジオ・フリー・アジアによると、メフブベ・アブレシュ（1979年生まれ）はウルムチの新疆人民ラジオ局広報部で働いていたウイグル人で、その地域における中国政府の政策に対して批判したとされ、2008年8月に解雇・拘束された。

当時、彼女に対する告訴と、この事例に関するその後の情報は知られないまま終わった。彼女の同僚は、彼女が拘禁されたのはインターネットに書いた彼女の記事と関係していると考えていた。国外在住者の情報によると、彼女と話していた際、彼女は新疆ウイグル自治区の政治指導者に対して批判的であり、この地域での北京語に重点を置いた言語政策を批判していたと述べた。また、2008年夏季の北京オリンピック大会に関する政府の安全対策や、2008年5月の四川地震に続きウイグル人から強制的に寄付を徴収したことに関する政府の対応を批判した記事をインターネットに投稿していたとも述べている。

2010年夏に、人権団体「対話」は彼女の事例に関して新たに入手した情報を報告している。「対話」からの中国当局への質問に対する回答によると、メフブベ・アブレシュ（報告中ではメフブベ・アブラク Mehbube Abrak とされている）は、中国政府の政策に対する批判に関連して、中国刑法103条の「分派主義」（分離主義）によって3年間の実刑判決に服役中であるということである。メフブベ・アブレシュの量刑手続きの日付は知られていない。「対話」は、彼女に比較的短い刑期が下されたことについて、より重い罪となる「分派主義」そのものではなく、「分派主義を扇動した」とされたからではないかと推測している。彼女はウルムチの新疆女子監獄（新疆第二監獄）で服役している。

中国刑法47条によると、拘禁された日数は実刑判決のうちの日として数えられる。メフブベ・アブレシュが拘禁された正確な日付は分かっていないが、2008年8月頃とみられる彼女が抑留された日から当局が法に従って刑期を数えたとするならば、刑期は2011年の内に終了しているはずである。しかし、彼女が釈放されたかどうかは定かではない。

彼女は独立中国ペンセンター（独立中文筆会）とウイグルペンクラブ (www.uyghurpen.org) の名誉会員である。

メメトジャン・アブドゥッラ (Memetjan Abdulla) ⁷⁴

2009年7月の破壊的なウルムチ民族騒乱を扇動幫助をしたとして、2010年4月に終身刑の判決



ラジオ・フリー・アジア (RFA) によると、北京の中国公安部の警官は、ウイグル人ウェブサイト管理者であるメメトジャン(ムヘメトジャン Muhemmetjan)・アブドゥッラ (1977年生) を2009年7月半ばに連行した。

メメトジャン・アブドゥッラは、中国国営ラジオのジャーナリストで、「ウイグルオンライン」と「サルキン」のウェブサイト管理者でもあった。

彼の友人が2010年12月20日と21日にRFAに提供した情報によると、ウルムチ中級人民法院は2010年4月1日にメメトジャンを、グルミラ・イミンと共に非公開裁判にかけ、終身刑に処した。彼に対する正確な告訴内容は判明していないが、2009年7月の破壊的な民族争乱を扇動幫助をしたためとされている。

彼は、2009年6月の広東省韶関でのウイグル人暴行事件に関する政府の処置に抗議するようという、世界ウイグル会議による海外のウイグル人に向けた発表を北京語のウェブサイトから取得し、それを翻訳したものを「サルキン」に掲載したとされる。彼はまた、2009年7月の新疆でのデモやそれに先立って起きた韶関事件について北京の外国人レポーターと話したとされる。当局は7月の事件を扇動したとして彼を起訴したとされている。

彼のいる監獄の場所は知られていない。

メメット・トゥルグン・アブドゥッラ (MemetTurghun Abdulla) ⁷⁵

2010年5月に失踪し、「分離主義的思想」を流布したとして拘禁されているとされている。

ラジオ・フリー・アジア (RFA) の公安警察から引用によると、メメット・トゥルグン・アブドゥッラはカシュガル地区イェンギサル県出身のウイグル人で、2010年5月頃に家から失踪し、現在拘禁中であると考えられている。

2009年7月5日のウルムチデモのきっかけとなった、2009年6月に広東省の漢民族がウイグル人工場労働者を殺害した事件に関する記事をオンラインで書いたとして、まず2009年8月にイェンギサル県公安警察がメメット・トゥルグン・アブドゥッラを抑留した。その後、当局によって自宅謹慎を命じられた。

RFAのソースによると、5月に彼を拘束したのが何者なのかは判明しておらず、地元警察は彼の失踪については関知していないとしている。しかし、最近の政党内部の広報は、彼は「分離主義的思想」を流布したとして拘禁されたと述べている。

彼の現在の居場所を含めた詳細については判明していない。

2009年7月以降に抑留されたウイグル人ウェブサイトスタッフ ⁷⁶

2009年7月の事件以降に抑留されたウイグル人ウェブサイトスタッフには、2009年8月7日にウルムチで逮捕された「ディヤリム」寄稿者オブルカシム (Obulqasim)、大学生のエイリニサ (Xeyrinisa またはヘイリニサ (Heyrinisa)) とハルヌル (Xalnur または Halnur)、大学教授のエルキン (Erkin) といった人々が含まれる。また、ムズタグ (Muztagh)、ルクチェック (Lükchek)、ヤンチュクチ (Yanchuqchi) というハンドルネームで知られている「ディヤリム」管理者と、「サルキン」管理者ムヘメット (Muhemmet) が逮捕されたとされている。

中国当局は、2009年7月5日にウルムチで計画されたウイグルデモに関するメッセージをウェブサイトに掲示したため、騒乱を扇動したとして他のウイグル語ウェブサイトと共に「ディヤリム」を摘発した。彼らは他の多くのウイグル人ウェブサイトスタッフの拘束に混ざって拘束された。

彼らが裁判にかけられて刑を宣告されたかどうかははっきりしておらず、彼らの所在についても不明である。

ヌルムハメット・ヤシン (Nurmuhemmet Yasin) ⁷⁷

「ウイグル分離主義、人種的憎悪・差別を扇動した」として、2005年2月に懲役10年の宣告



ラジオ・フリー・アジアによると、2004年の終わりにカシュガル文学ジャーナルがヌルムハメット・ヤシン（拘束時31歳）の「野生のハト」という物語を掲載した後、2004年11月29日に新疆当局が彼を拘束した。物語は、捕らわれの身で生きるよりは自殺を選んだ籠の鳥の話であった。2005年2月2日の「対話」によると、バチュ（マラルウェシ）県人民法院は刑法249条に触れ、「ウイグル分離主義、人種的憎悪・差別を扇動した」としてヌルムハメット・ヤシンを懲役10年の刑に処した。

刑法103条の「分派主義の扇動」に触れたとして刑に処されたとする報告もある。

2005年7月14日に同法院は、カシュガル文学ジャーナルの編集者であるコラシュ・フセイン (Korash Huseyin) に、ヌルムハメット・ヤシンの物語を掲載し出版したことによる「義務不履行」として懲役3年の刑を言い渡した(コラシュ・フセインは2008年に釈放された)。

カシュガル人民中級法院は2005年3月17日の抗告審判においてヌルムハメット・ヤシンの判決を支持し、その上告を棄却した。

3月17日のRFAの記事によると、作家ヌルムハメット・ヤシンは2005年の終わりに国際連合拷問特別調査官マンフレッド・ノーワーク (Manfred Nowak) に面会しており、拷問について報告しているため、投獄されているに彼に対しての監獄当局からの扱いが悪化したといわれる。RFAの記事によると、「信念の矯正」がなされていない罰として、当局はヌルムハメット・ヤシンの家族の訪問を2ヶ月に1度から年に2回に減らし、監獄内でのヌルムハメット・ヤシンの行動を制限した。

現在彼は新疆第一監獄に拘禁されている。

トゥルスンジャン・ヘジム (Tursunjan Hezim) ⁷⁸

2010年7月に懲役7年の刑、容疑は判明していない。



ラジオ・フリー・アジアによると、東トルキスタンのアクス地区の公安警察は、7月5日にウルムチで始まったデモ・騒乱の後、2009年7月初旬に、ウイグル語ウェブサイト「オルフン Orkhun」の管理者だったトゥルスンジャン・ヘジムというウイグル人男性を拘束した。彼の所在は2011年3月まで判明していなかった。

2010年7月、アクス中級人民法院は非公開裁判を行ない、トゥルスンジャン・ヘジムを懲役7年の刑に処した。判決の正確な日付や彼への告訴に関する情報は得られていない。この事例に詳しいソースによると、当局はトゥルスンジャン・ヘジムの家族に判決を告げたが、罪状については述べなかったという。

彼のウェブサイト「オルフン」はウイグルの歴史や文化に重点を置いており、2008年北京オリンピックの競技期間中には、他のサイトと同様に掲示板サービスが一時的にシャットダウンされ、2009年7月以降閉鎖された。ウェブサイトの名前は、ウイグルのテュルク系民族の祖先の祖国にちなんでおり、主にウイグル文化と歴史に関する学術的な記事を扱っていた。

ヘジム（拘束時36歳）は、研究活動の他にヤムズ (Yawuz) というハンドルネームで「ウイグルオンライン」や「ボスタン (Bostan)」といったウイグル語ウェブサイトでオンラインのディスカッションにも参加していた。

彼が刑期を過ごしている場所に関する情報は得られていない。

言論・表現の自由の権利を行使して収監
されたウイグル人それぞれの事例

アブドゥヘリル・ズヌン (Abduhelil Zunun) ⁷⁹

「分派主義」により、2001年に懲役20年と4年間の政治的権利の剥奪の判決

2000年2月16日、東トルキスタンのアクス地方当局は、世界人権宣言をウイグル語に翻訳したと通報されたアブドゥヘリル・ズヌンを、刑法103条と125条における「分派主義と武器・弾薬・爆発物の違法製造・違法取引」の罪で拘束した。2001年11月5日にアクス地方の中級人民法院は、アブドゥヘリル・ズヌンに対して懲役20年と5年間の政治的権利剥奪を宣告した。彼は新疆第一監獄にて服役している。

アブドゥガニ・イミン (Abdughani Imin) とオブルカシム・アブリズ (Obulkasim Abliz) ⁸⁰

2001年10月に「分派主義煽動」の罪で、それぞれ禁固13年と15年の判決

2005年夏発行の「対話」の報告と、「対話」が得た中国当局の情報源に基づく情報によると、カシュガル県ヨブルガ (Yopurgha) 郡の公安当局は、「1999年12月10日に、3人の男が禁止されているウイグル国旗を郡の裁判所の建物に掲げた」と第三者が警察に白状した後に、アブドゥガニ・イミンとオブルカシム・アブリズを、それぞれ2000年1月13日および27日に拘束した。

カシュガルの中等人民裁判所は、2001年10月10日にアブリズに対して「分派主義煽動」の罪で禁固13年を宣告した。裁判所はイミンに対しても同日、恐らく同じ罪で、禁固15年を宣告した。

両名ともに新疆ウイグル自治区の高級人民法院に上告を行ったが、アブリズの上告は2002年1月22日に、イミンの上告も、日時は不明であるが棄却された。

イミンは新疆第一監獄で服役をしており、アブリズは新疆第三監獄で服役している。

アブドゥラ・ジャマル (Abdulla Jamal) ⁸¹

2005年4月に拘束されたが、彼がどこで裁かれて判決を下されたのかは不明である。彼の消息も不明である。



アブドゥラ・ジャマル(拘束時 42 才)はカシュガル・ポスカム (Poskam) 郡の第一中等学校の教師であったが、2005年3月12日に拘束され、2005年4月にカシュガルで正式に逮捕された。

アムネスティ・インターナショナルは、彼は「油井での惨事」というタイトルの原稿を書いたことによって逮捕されたと報じている。当局は、その原稿が分派主義を煽動したと主張している。

ラジオ・フリー・アジア (RFA)によると、その原稿は「油井での惨事」というタイトルの小説であったということである。

アブドゥラ・ジャマルは2005年3月当初、ウイグル人と漢人との闘争に関わったとして、3人の教師(アブドゥシュクル(Abdushukur)、アイヌル・アブドゥゲニ(Aynur Abdugheni)、アニキズ・グルプル(Aniqiz Ghurpur))および17～18名の学生と共に拘束された。アムネスティによると、彼が拘束されたのは、彼が出版のために原稿を提出した後であった。

彼は表現の自由を(実行/行使)して拘禁された、良心の囚人であるとアムネスティ・インターナショナルは確信している。

アブドゥラの消息等を含むこの事例の詳細は不明である。

アブリキム・アブドゥレイム (Ablikim Abdureyim) ⁸²

「分離活動の煽動と関与」で、懲役9年と5年間の政治的権利の剥奪の宣告



中国国営・新華社通信によると、ウルムチ中級人民法院は2007年4月17日、ラビア・カーディルの息子であるアブリキム・アブドゥレイムに、「分離主義の煽動と従事」の罪で禁固9年と3年間の政治的権利の剥奪を宣告した。

アメリカウイグル協会によると、裁判所はアブリキムに彼自身が選んだ代理人に依頼する権利を与えないまま、2007年1月22日に彼を裁いたと伝えている。「彼の自白は恐らく拷問のもとに行われたのだろう」とアブドゥレイムの家族は語っている。

彼は分離を支持する記事を広め、反政府抗議煽動を計画し、東トルキスタンでの人権状況を不当に伝えるエッセイを書いたと判決は断言している。

当局は、アブリキムと彼の兄弟であるアリムとカハル (Kahar) を6月14日に正式に逮捕し、7月14日にアブリキムを国家転覆罪で、アリムとカハルを脱税で起訴した。天山地方人民法院は2006年11月27日、脱税でアリムに懲役7年と罰金を、カハルに罰金を課した。

彼らの母は有名なウイグル人活動家ラビア・カーディルであり、彼女が良心の囚人として拘禁されて以来、その家族は標的にされている。2005年3月17日に彼女が健康上の理由によって仮釈放され、中国からアメリカに渡って以降、この状況は激しくなった。

裁判所は、ラビア・カーディルが世界ウイグル会議の総裁に選ばれた後、2006年11月27日に彼女の息子への判決を下したが、それはラビア・カーディルの家族に対する容認しがたい迫害であり、彼女の人権活動に対する処罰であると考えられている。

アブリキムは監禁・拘禁中に虐待を受けており身体的な外傷を負ったと、2007年にアメリカウイグル協会が報告している。アブリキム・アブドゥレイムの親戚が2010年12月13日に監獄にいる彼のもとを訪れた時、彼は拷問されていると親戚に語った。監獄で問題のある事故を目撃したことを否定する文書へのサインを拒否した後、2010年3月11日に彼は独居房へ移されたとも語っている。

中国当局の情報源に基づいた「対話」の情報によると、アブリキムはウルムチの新疆第四監獄で服役している。

アリム・アブドゥレイム (Alim Abdureyim) ⁸³

「脱税」の容疑で懲役7年の宣告



新華社通信によると、天山地方人民裁判所は2006年11月27日に、「脱税」の容疑でラビア・カーディルの息子であるアリム・アブドゥレイムに懲役7年と罰金50万人民元(62,500U.S.ドル)を課し、また、同じく彼女の息子であるカハル・アブドゥレイムにも罰金を課した。

ウイグル人権プロジェクト(UHRP)は、2006年10月27日に裁判所が両名を裁いたと報告している。ウイグル人権プロジェクトによると、当局はアリム、カハル及び彼らの兄弟であるアブリキムを2006年6月14日に正式に逮捕し、2006年7月14日に国家転覆の容疑でアブリキムを、アリムとカハルは脱税容疑で正式に起訴した。中国のメディアによると、当局はまず2006年6月1日にアリムとアブリキムを拘束したとされている。当局は2006年6月13日にまずはカハルを監視対象とした。

彼らの母であるラビア・カーディルは著名なウイグル人活動家であり、彼女が1999年に良心の囚人として拘禁されて以来、その家族は当局によって標的にされてきた。彼女が2005年3月17日に療養のために仮釈放され、中国からアメリカに渡って以降、この状況は激しくなった。

ラビア・カーディルが世界ウイグル会議総裁に選ばれた後の2006年11月27日、裁判所は彼女の息子たちに判決を下した。このことは、ラビア・カーディルの家族に対する受け入れがたい迫害であり、人権活動家である彼女に対する処罰であると考えられている。

中国当局の情報源に基づいた「対話」の情報によると、アリムは現在新疆第三監獄で服役中である。

エクベルジャン・ジャマル (Ekberjan Jamal) ⁸⁴

2008年2月に「分裂主義と国家機密漏洩」の容疑で懲役10年を宣告

ラジオ・フリー・アジアがエクベルジャンの母とのインタビューにもとづき2009年4月15日に報告した内容によると、トルファン市当局は、トルファン市での小売店主達のデモの音声を携帯電話でオランダの友人へ送信したとして、エクベルジャン(拘束時22才)を2007年12月25日に拘束した。

彼の友人はその様子を録音し、その録音を、香港を拠点とするフェニックスニュース社とRFAへ渡し、RFAはその録音を放送で使用した。エクベルジャンは彼の個人的なウェブページにその放送のオンライン版を掲載した。

エクベルジャンが拘束された際、当局は彼のウェブページを閉鎖した。申し立てによると、彼は21の様々な事件に関する情報を海外に送ったことについて裁かれ、トルファン市中級人民法院は2008年2月28日、刑法103条と11条にもとづき「分派主義と国家機密漏洩」の罪で彼に懲役10年を宣告した、とエクベルジャンの母はRFAに対して語っている。

目撃者によると、2007年11月1日、7日、19日にトルファン市で小売店主達の抗議活動が起きている。抗議活動はトルファンのグランドバザールで2007年10月3日に発生した火災により被害を受けた彼らの商売を復帰させ、損失を補償するという約束を守らなかった地元当局に対するものである。住民によると、その火災で1人が死亡し、100万元相当の商品が焼失したという。エクベルジャンが携帯電話で彼の友人と共有した音声は、警察のサイレンや声、彼が目にしたものを彼が肉声で説明したものであった。RFAのウイグル語サービスは2007年11月26日にその音声を受け取り、放送で使用した。

2009年4月現在、彼はウルムチの新疆第四監獄に収監されている。

ハルムラト・イミン (Halmurat Imin) ⁸⁵

2011年2月に反動主義的な宣伝用DVDを不法に収集し、“国家安全を脅かした”容疑で拘禁

2011年2月28日のラジオ・フリー・アジアの報告より、世界ウイグル会議のスポークマンであるディルシャット・ラシット (Dilshat Raxit) の発表によると、公安当局はウルムチ市でDVDを所有していたとして、2011年2月22日にホタン地区の23才のウイグル人男性、ハルムラト・イミンを拘束した。

当局は彼を、「反動主義的なDVDを不法に収集」し、「国家安全保障を脅かした」容疑で告訴した。

中国国内で人権活動家がジャスミン集会開催を要求している際、これにもとづいて当局がセキュリティを強化したことにより、アメリカを拠点とするウイグル人権提唱者、ラビア・カーディルの生涯と闘争に焦点を当てた「愛の10条件」というDVDが発見された。これに続き、ウルムチ当局が市場を査察した後にこの拘束は行われたと、世界ウイグル会議のスポークマンは報告している。

彼の現在の消息を含む本件に関する詳細な情報は判明していない。

イサ・フセン (Isa Husen) ⁸⁶

2005年6月に懲役12年の判決、罪状は知られていない。



イサ・フセン (Eysa Husen とも)は1996年にトクス (中国語名: 新和) で生まれた。1988年に石河子農業大学を卒業し、卒業後はトクス農務課に勤務していた。その後、1994年8月に逮捕されるまではトクスのキチキュルトゥズ (Kichikyultuz) 村の副村長であった。

彼は1994年2月、トクスで「東トルキスタン正義党」を設立し、党首に選ばれた。この地位にあって、彼は中国政府のウイグル人に対する不当な政策を糾弾し、1994年8月、政党設立から数ヵ月後に逮捕された。

彼は2003年に懲役9年の判決を受けたが、逮捕された1994年から既に9年が経過していたため、2003年の内に釈放された。釈放後、政治的活動には参加しなかったが、トクス住民には大変尊敬されていた。そのため中国当局は彼を危険人物とみなし、証拠を提出することなく2005年6月に再度逮捕した。彼は、容疑は不明のまま、懲役12年の刑に処された。

彼は現在ウルムチに拘禁されているが、正確な刑務所は知られていない。

ママタリ・アハット (Mamatali Ahat) ⁸⁷

2006年3月に懲役8年の判決

ママタリ・アハットがホタン団結広場の毛沢東がウイグル人農民と握手をしている像の前で東トルキスタン国旗を掲揚した後、2006年3月6日に、ホタン地方裁判所は彼に懲役8年の判決を下した。

裁判所は、アハットが像を爆破するために、盗んだ銃と爆発物を所持していたとして判決を下した。毛沢東とウイグル人農民クルバン・トゥルム (Kurban Tulum) の像は、中国共産党の政策によりウイグル人が利益を享受している様子を表す象徴として、中国政府が設置していた。しかしその像はウイグル人からは、公式なプロパガンダとは異なり、日々の暮らしにも苦しむ圧制の象徴として広く認識されていた。

本件に関するこれ以上の詳細は判明していない。

ヌルハマト・ユスブ (Nurhahmat Yusup) ⁸⁸

「反革命」罪のために 1997 年 9 月に懲役 20 年の判決”

アムネスティ・インターナショナルによると、カシュガル人民広場に掲げられた中華人民共和国国旗が、中国政府が禁止している東トルキスタン国旗と差し替えられた後、1996 年 7 月に、東トルキスタンのカシュガル地方当局はヌルハマト・ユスブ（拘束時 22 歳）を拘束した。ヌルハマト・ユスブの家宅捜査中、警察は「反動主義」というレッテルを貼られた有名なウイグル人詩人のテープを発見したといわれている。そのテープの保持自体が違法と見なされていた。弁護士が在席していたにも関わらず、裁判所は 1997 年 9 月に（正確な罪状は判明していないが）「反革命」罪でヌルハマト・ユスブを懲役 20 年の刑に処すと判決を下した。

公判後、家族は獄中の彼を訪ねることを許されていた。アムネスティ・インターナショナルは、ヌルハマト・ユスブは言論・表現の自由という彼の権利を平和的に行使しただけであるのに対して、重い懲役を与えられたと報告した。

ヌルハマト・ユスブは、ウルムチの六道湾 (Liu Daowan) にある監獄（新疆第一監獄）で刑期を過ごしているところを最後に確認されている。

トゥルスンジャン・ヘセン (Tursunjan Hesen)⁸⁹

2009年7月に「国家機密漏洩と国家の安全保障を危険にさらした」として拘束、判決は判明していない。

ラジオ・フリー・アジアによると、イリ・カザフ自治州グルジャ(伊寧)の達達木図(Dadamtu)郷当局は、2009年7月2日にトゥルスンジャン・ヘセン(ハサン・トゥルスンジャン(Hasan Tursunjan))を拘束し、娘のアルズグリ・トゥルスン(Arzigul Tursun)を巻き込んだ事件について海外メディアへの取材に応じたことが国家機密の漏洩と国家の安全保障を危険にさらしたとして、彼を告訴したといわれている。

2008年に、45,000元(6,591U.S.ドル)の罰金を支払えなかったため、その地域での人口計画規則で許可されている子どもの数を上回るとして、イリ・カザフ自治州当局は、妊娠6ヶ月だったアルズグリの3番目の子どもを強制的に中絶させる計画を発表した。アルズグリは、強制的に中絶を受けさせるために連れていかれた病院から逃走したが、当局は彼女を見つけ出し、より大きな病院へと連行した。

二人のアメリカ合衆国議員(ペンシルバニアのジョー・ピッツ(Joe Pitts)下院議員とニュージャージーのクリス・スミス(Chris Smith)下院議員)や駐中国合衆国大使(クラーク・ランド(Clark Randt))を含む、彼女を支持する国際的な強い運動を受け、2008年11月に当局は中絶を実施することなく彼女を病院から解放したが、彼女とその家族に嫌がらせや監視を続けた。

2009年7月2日、トゥルスンジャン(拘束当時67歳)の拘束前に、警察は誰がアルズグリの件を国際メディアに知らせたかに関して何度も彼を尋問したと報告されている。警察はまた、彼に関連のない、その地域の土地争いについても彼を尋問した。

彼はグルジャPSB拘禁所におり、2009年11月に裁判にかけられる予定であったと考えられている。

トゥルスンジャン・ヘセンが裁判にかけられ判決を下されたかどうかについては分かっていない。

後 注

¹ See *eg.*, **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “198 People in Xinjiang Reportedly Sentenced in Trials Marked by Lack of Transparency” Commission Analysis) (www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingel=137197), posted on Apr. 21, 2010.

² See *id.*; Uyghur Student Sentenced to Death” (www.rfa.org/english/news/uyghur/death-12302010153000.html), **Radio Free Asia** (online), Dec. 30, 2010.

³ See Uyghur Student Sentenced to Death” (www.rfa.org/english/news/uyghur/death-12302010153000.html), **Radio Free Asia** (online), Dec. 30, 2010; **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “198 People in Xinjiang Reportedly Sentenced in Trials Marked by Lack of Transparency” Commission Analysis) (www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingel=137197), posted on Apr. 21, 2010; **Amnesty International** (online), “China Must Halt Death Sentences Against Uighurs” (<http://amnesty.org/en/news-and-updates/news/china-must-halt-death-sentences-against-uighurs-20091203>), Dec. 3, 2009; **Amnesty International USA** (online), “Amnesty International Urges the Supreme Court to Review the Sentencing of Five Uighurs to Death” (press release) (www.amnestyusa.org/document.php?id=ENGUSA20091203002&lang=e), Dec. 3, 2009.

⁴ See *eg.*, **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “198 People in Xinjiang Reportedly Sentenced in Trials Marked by Lack of Transparency” Commission Analysis) (www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingel=137197), posted on Apr. 21, 2010.

⁵ See **Human Rights Watch** (online), “China: Events of 2009” chapter (www.hrw.org/en/node/87491) in “World Report 2010” (www.hrw.org/world-report-2010), January 2010; **Human Rights Watch** (online), “China: Xinjiang Trials Deny Justice: Proceedings Fail Minimum Fair Trial Standards” (www.hrw.org/en/news/2009/10/15/china-xinjiang-trials-deny-ustice), Oct. 15, 2009.

⁶ See *eg.*, **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “198 People in Xinjiang Reportedly Sentenced in Trials Marked by Lack of Transparency” Commission

Analysis) (www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingle=137197), posted on Apr. 21, 2010.

⁷See *eg.*, *id.*: **Bureau of Democracy, Human Rights, and Labor, U.S. Department of State**, “2009 Human Rights Report: China (includes Tibet, Hong Kong, and Macau)” (www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2009/eap/135989.htm), Mar. 11, 2010.

⁸For the Chinese Constitution see for example <http://www.hkhrm.org.hk/english/law/const03.html> (accessed 13 May 2011)

⁹See **Freedom House** Report “Freedom on the Net 2011”, available at: <http://www.freedomhouse.org/images/File/FotN/FOTN2011.pdf>, p. 10238

¹⁰*Ibid.*, p. 103

¹¹See **Human Rights Watch** (HRW), “World Report 2011”, 24 January 2011, available at: <http://www.hrw.org/sites/default/files/reports/wr2011.pdf>, p. 304

¹²See **Amnesty International**, “Annual Report 2011”, chapter on China, May 2011, available at: <http://amnesty.org/en/region/china/report-2011>

¹³*Ibid.*

¹⁴See **Freedom House** Report “Freedom on the Net 2011”, available at: <http://www.freedomhouse.org/images/File/FotN/FOTN2011.pdf>, p. 105

¹⁵*Id.*

¹⁶See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Annual Report 2009” (www.cecc.gov/pages/annualRpt/annualRpt09/CECCannRpt2009.pdf), Oct. 10, 2009, pp. 66, 244, 253-254 (citing sources); **Amnesty International** (online), “China: Fear of torture and other ill-treatment: Abdushukur Qurban (m)” (Urgent Action) (<http://www.amnesty.org/en/library/info/ASA17/111/2008/en>) (pdf follows download), Dec. 5, 2008, 1st page; **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Annual Report 2008” (http://frwebgate.access.gpo.gov/cgi-bin/getdoc.cgi?dbname=110_house_hearings&docid=f:45

[233.pdf](#)), Oct. 31, 2008, p, 168.

¹⁷ See *id.* and **Amnesty International**, “Annual Report 2011”, Chapter on China, May 2011 available at: <http://amnesty.org/en/region/china/report-2011>

¹⁸ See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “**Number of Trials for State Security Crimes in Xinjiang Increases in 2009**” **Commission Analysis**) (www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=134666), posted on Feb. 5, 2010.

¹⁹ See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Annual Report 2009” (www.cecc.gov/pages/annualRpt/annualRpt09/CECCannRpt2009.pdf), Oct. 10, 2009, pp. 66, 244, 253-254 (citing sources); **Amnesty International** (online), “China: Fear of torture and other ill-treatment: Abdushukur Qurban (m)” (Urgent Action) (<http://www.amnesty.org/en/library/info/ASA17/111/2008/en>) (pdf follows download), Dec. 5, 2008, 1st page; **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Annual Report 2008” (http://frwebgate.access.gpo.gov/cgi-bin/getdoc.cgi?dbname=110_house_hearings&docid=f:45233.pdf), Oct. 31, 2008, p, 168.

²⁰ See **UN Special Rapporteur on torture and other cruel, inhuman, or degrading treatment or punishment**, “Report: MISSION TO CHINA”, E/CN.4/2006/6/Add.6, p.11-12, March 2006, available at: <http://daccessGdds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/G06/117/50/PDF/G0611750.pdf?OpenElement>

²¹ See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “**Number of Trials For State Security Crimes in Xinjiang Increases in 2009**” **Commission Analysis**) (www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=134666), posted on Feb. 5, 2010 [citing to and quoting to March 6, 2006 report by **UN Special Rapporteur on Torture and other cruel, inhuman, or degrading treatment or punishment**].

²² See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Annual Report 2009” (www.cecc.gov/pages/annualRpt/annualRpt09/CECCannRpt2009.pdf), Oct. 10, 2009, pp. 66, 244, 253-254 (citing sources); **Amnesty International** (online), “China: Fear of torture and other ill-treatment: Abdushukur Qurban (m)” (Urgent Action) (<http://www.amnesty.org/en/library/info/ASA17/111/2008/en>) (pdf follows download), Dec. 5,

2008, 1st page; **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Annual Report 2008”

(http://frwebgate.access.gpo.gov/cgi-bin/getdoc.cgi?dbname=110_house_hearings&docid=f:45233.pdf), Oct. 31, 2008, p, 168.

²³ *See* **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “198 People in Xinjiang Reportedly Sentenced in Trials Marked by Lack of Transparency” Commission Analysis)

(www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=137197), posted on Apr. 21, 2010 (citing sources); “198 convicted for unrest in China’s Xinjiang”

(www.france24.com/en/20100307-198-convicted-unrest-chinas-xinjiang), **AFP** (published on France 24’s website), Mar. 7, 2010; “Xinjiang official stresses fighting separatism, says 198 sentenced for deadly riots”

(http://news.xinhuanet.com/english2010/china/2010G03/07/c_13201007.htm), **Xinhua** (in English) (online), Mar. 7, 2010.

²⁴ *See* id.

²⁵ *See* generally, id.

²⁶ *See* **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “198 People in Xinjiang Reportedly Sentenced in Trials Marked by Lack of Transparency” Commission Analysis)

(www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=137197), posted on Apr. 21, 2010 (citing sources).

²⁷ *See* Ifeng (“新疆去年审结危害国家安全犯罪案件 376”

(http://news.ifeng.com/mainland/detail_2011_01/16/4303712_0.shtml), 16. January 2011

²⁸ **Dui Huia Foundation** “Xinjiang Court Offers First Indicator of State Security Stats for 2010”

(<http://www.duihuahrjournal.org/2011/01/xinjiang-court-offers-first-indicator.html>), 20 January 2011

²⁹ *See* id.

³⁰ *See* **Amnesty International** “China must show Xinjiang unrest trials were fair”

(<http://www.amnesty.ca/media2010.php?DocID=157>), 17 January 2011

³¹ See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Xinjiang Government Issues Internet Regulation, Keeps Strict Control on Information” (**Commission Analysis**) (www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=130352), posted on Dec. 8, 2009 (citing sources).

³² See eg., **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Annual Report 2009” (www.cecc.gov/pages/annualRpt/annualRpt09/CECCannRpt2009.pdf), Oct. 10, 2009, pp. 243-248, 253-254, 256-258 (citing sources); **Amnesty International** (online), “Uighur Ethnic Identity Under Threat in China” (www.amnesty.org/en/library/asset/ASA17/010/2009/en/e952496e-57bb-48eb-9741-e6b7fed2a7d4/asa170102009en.pdf), Apr. 2009, 1st-2ndpages; **U.S. Congressional Executive Commission on China** (online), “Annual Report 2008” (http://frwebgate.access.gpo.gov/cgi-bin/getdoc.cgi?dbname=110_house_hearings&docid=f:45233.pdf), Oct. 31, 2008, pp. 168-169, 171, 172 (citing sources).

³³ See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** online, “Internet Available in Xinjiang, But Controls Over Information Remain” (**Commission Analysis**) (www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=143705), posted on Aug. 19, 2010 (citing sources and the law).

³⁴ See “China Restores Internet to Xinjiang” (www.guardian.co.uk/world/2010/may/14/china-restores-internet-access-xinjiang), **Reuters** [published on The Guardian (UK) (online)], May 14, 2010). See generally, Chris Hogg, “China restores Xinjiang internet” (<http://news.bbc.co.uk/2/hi/asia-pacific/8682145.stm>), **BBC News** (online), May 14, 2010.

³⁵ See **Uyghur American Association (UAA)** (online), “Internet Reopened in East Turkestan, But Uyghur Webmasters and Bloggers Remain Behind Bars” (press release) (www.uyghuramerican.org/articles/4597/1/Internet-reopened-in-East-Turkestan-but-Uyghur-webmasters-and-bloggers-remain-behind-bars/index.html), May 14, 2010; “Call for Uyghurs’ Release” (www.rfa.org/english/news/uyghur/uyghurrelease-12152009110742.html), **Radio Free Asia (RFA)** (online), Dec. 15, 2009; **Amnesty International** (online), “China Holds Uighur Journalist Over Xinjiang Unrest Remarks” (www.amnesty.org/en/news-and-updates/news/china-holds-uyghur-journalist-over-Xinjiang-unrest-remarks-20091030), Oct. 30, 2009; **Amnesty International** (online), “China: Uighur Journalist Detained, Risks Torture” (Urgent Action)

(www.amnesty.org/en/library/asset/ASA17/060/2009/en/ea19e87f-a9c2-444b-b42e-2ba7eda59e30/asa170602009en.html), Oct. 30, 2009; **Amnesty International** (online), “China: Uighur Website Editor At Risk of Torture” (Urgent Action) (www.amnesty.org/en/library/asset/ASA17/056/2009/en/c4679695-04f7-49c5-a067-f33346e7458e/asa170562009en.html), Sept. 30, 2009.

³⁶ See **Reporters Without Borders for Press Freedom** (online), “How censorship can affect the peaceful solution of the crisis in Xinjiang” (http://en.rsf.org/IMG/pdf/100705-Xinjiang_speech.pdf), July 5, 2010; Jean-François Julliard, Secretary General of Reporters Without Borders for Press Freedom, “Open Letter to the Xinjiang’s party secretary,” (<http://en.rsf.org/china-open-letter-to-the-xinjiang-s-20-05-2010,37527.html>), **Reporters Without Borders for Press Freedom** (online), May 20, 2010.

³⁷ See **Reporters Without Borders for Press Freedom** (online), “How censorship can affect the peaceful solution of the crisis in Xinjiang” (http://en.rsf.org/IMG/pdf/100705-Xinjiang_speech.pdf), July 5, 2010; Jean-François Julliard, Secretary General of **Reporters Without Borders for Press Freedom**, “Open Letter to the Xinjiang’s party secretary,” (<http://en.rsf.org/china-open-letter-to-the-xinjiang-s-20-05-2010,37527.html>), **Reporters Without Borders for Press Freedom** (online), May 20, 2010.

Reporters Without Borders Report: „Internet Enemies“, March 2011, available at: http://12march2011.org/i/Internet_Enemies.pdf, p. 20 ; **Xiao Qiang**, “A List of Censored Words in Chinese Cyberspace,” China-Digital-Times, August 30, 2004, <http://chinadigitaltimes.net/2004/08/the-words-you-never-see-in-chinese-cyberspace;> **The Washington Post** “Keywords Used to Filter Web Content”, 18 February 2006, available at: <http://www.washingtonpost.com/wp-dyn/content/article/2006/02/18/AR2006021800554.html>

³⁸ See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Internet Available in Xinjiang, But Controls Over Information Remain” Commission Analysis) (<http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingel=143705>), posted on Aug. 19, 2010; **Reporters Without Borders for Press Freedom** (online), “How censorship can affect the peaceful solution of the crisis in Xinjiang” (http://en.rsf.org/IMG/pdf/100705-Xinjiang_speech.pdf), July 5, 2010. See also, Marianne Bariaux, “Web blocks remain one year on for China’s Uighurs”

(www.google.com/hostednews/afp/article/ALeqM5ifncCt6BaacPu87xIkt9Ep_5WKEA),
AFP (published on Google), July 5, 2010.

³⁹ See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Internet Available in Xinjiang, But Controls Over Information Remain” Commission Analysis) (<http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingl=143705>), posted on Aug. 19, 2010 (citing **Radio Free Asia** and **Mingpao** reports).

⁴⁰ See *id.*

⁴¹ See **U.S. Congressional-Executive Commission on China** (online), “Xinjiang ‘Ethnic Unity’ Regulation Imposes Party Policy, Restricts Free Expression” (Commission Analysis) (www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingl=135732), posted on March 16, 2010 (citing a February 7, 2010 **Tianshan Net** report and a January 26, 2010 report from the **XUAR Public Security Department**).

⁴² See **Amnesty International** (online), “Justice, Justice: The July 2009 Protests in Xinjiang, China” (www.amnesty.org/en/news-and-updates/report/new-testimonies-Reinforce-call-china-investigate-xinjiang-riots-2010-07-02) (pdf follows download), July 2, 2010, p. 16 (citing sources).

⁴³ See Cui Jia, “SMS returns to Xinjiang: Residents restricted to daily maximum of 20 text messages” (www.chinadaily.com.cn/china/2010G01/18/content_9332764.htm), **China Daily** (online), Jan. 18, 2010 (indicating that residents still could not make international phone calls independently from their phones and that they could only make international phone calls at local branches of China Telecom after first registering their identification). See generally, “Email service resumed in Xinjiang 8 months after riot” (www.chinadaily.com.cn/china/2010-03/21/content_9619384.htm), **Xinhua** (in English) (published on China Daily’s website), Mar. 21, 2010. Note: UAA has received accounts from individuals who have tried to call the region that the ability to connect has been erratic.

⁴⁴ See **Amnesty International** (online), “Justice, Justice: The July 2009 Protests in Xinjiang, China” (www.amnesty.org/en/news-and-updates/report/new-testimonies-reinforce-call-china-investigate-xinjiang-riots-2010-07-02) (pdf follows download), July 2, 2010, p. 16 (citing sources).

⁴⁵ *See generally*, Andrew Jacobs, “Resentment Simmers in Western Chinese Region” (<http://www.nytimes.com/2010/09/05/world/asia/05uighur.html>), **The New York Times** (online), Sept. 4, 2010.

⁴⁶ *See* Marriane Barriaux, “China’s Uighurs face web blocks one year after riots,” **Agency France Presse**, July 5, 2010, available at: <http://www.sinodaily.com/afp/100706015122.2f27b2pc.html>

⁴⁷ *See* **Freedom House Report** “Freedom on the Net 2011”, available at: <http://www.freedomhouse.org/images/File/FotN/FOTN2011.pdf>, p. 88

⁴⁸ *See* **Committee to Protect Journalists (CPJ) Report**: „Attacks on the Press in 2010“ (online), April 2011, chapter on China, available at: <http://www.cpj.org/2011/02/attacks-on-the-press-2010-china.php>

⁴⁹ *See Id.*

⁵⁰ *See* **Reporters Without Borders Report**: „Internet Enemies“, March 2011, available at: http://12march2011.org/i/Internet_Enemies.pdf, p. 5

⁵¹ *See Id.*

⁵² *See Id.*, p. 9 and 15

⁵³ *See* **Freedom House Report** “Freedom on the Net 2011”, available at: <http://www.freedomhouse.org/images/File/FotN/FOTN2011.pdf>, p. 92

⁵⁴ *See* **Reporters Without Borders Report**: „Internet Enemies“, March 2011, available at: http://12march2011.org/i/Internet_Enemies.pdf, p. 17

⁵⁵ **David Bandurski**, “China’s Guerrilla War for the Web,” *Far Eastern Economic Review* (July 2008), <http://feer.wsj.com/essays/2008/august/chinas-guerrilla-war-for-the-web> cited in **Freedom House Report** “Freedom on the Net 2011”, available at: <http://www.freedomhouse.org/images/File/FotN/FOTN2011.pdf>, p. 98

⁵⁶ “China Shuts Over 60,000 Porn Websites This Year,” **Reuters**, December 30, 2010,

<http://www.reuters.com/article/idUSTOE6BT01T20101230> cited in **Freedom House**

Report “Freedom on the Net 2011”, available at:

<http://www.freedomhouse.org/images/File/FotN/FOTN2011.pdf>, p. 92

⁵⁷ See **Reporters Without Borders** Report: „Internet Enemies“, March 2011, available at:

http://12march2011.org/i/Internet_Enemies.pdf, p. 15

⁵⁸ *See Id.*

⁵⁹ *See Id.*, -p. 16

⁶⁰ *See Id.*, p. 18

⁶¹ *See Id.*, p. 17

⁶² See **Freedom House** Report “Freedom on the Net 2011”, available at:

<http://www.freedomhouse.org/images/File/FotN/FOTN2011.pdf>, p. 93

⁶³ *See Id.*, p. 102

⁶⁴ See **Radio Free Asia**, “Uyghurs Targeted Amidst Reform Call”, 28 February 2011, available

at: <http://www.rfa.org/english/news/uyghur/reform-02282011114853.html>

⁶⁵ See **The Economist**, “Catching a whiff of jasmine in Kashgar”, 20 February 2011, available

at: http://www.economist.com/blogs/asiaview/2011/02/precautions_xinjiang

⁶⁶ See **Radio Free Asia**, “乌鲁木齐及拉萨满布警察 市民不知“茉莉花”, 28 February 2011,

available at:

http://www.rfa.org/cantonese/news/jasmine_xinjiang-0228201111244.html?encoding=simplified

⁶⁷ Sources for Abdulghani Memetemin:

Amnesty International, “China: More activists stand up for human rights, despite risks”, AI Index: ASA 17/059/2004, 6 December 2004, available at:

<http://www.amnesty.org/en/library/info/ASA17/059/2004/en>

Amnesty International, “China: Human rights defenders at risk”, ASA 17/045/2004, 6

December 2004, available at: <http://www.amnesty.org/en/library/info/ASA17/045/2004/en>

Amnesty International, The Wire, December 2004. Vol. 34, No. 11, available at:

<http://www.amnesty.org/en/library/info/NWS21/011/2004/en>

Committee to protect Journalists (CPJ), “Imprisoned Journalists in 2010”, 1 December 2010, available at: <http://www.cpj.org/imprisoned/2010.php#china>

Radio Free Asia (RFA), China Jails Uyghur Journalist For "Separatism", 30 July 2004, available at: <http://www.rfa.org/english/news/politics/142490-20040730.html>

Rebiya Kadeer in **The Wall Street Journal** China’s Uyghur Oppression Continues, 04 August 2010, available at: <http://www.uyghurcongress.org/en/?p=3710> and

<http://online.wsj.com/article/SB10001424052748704017904575408650462789996.html>

U.S. Congressional Executive Commission on China, Entry for “Abdulghani Memetemin” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2005-00047), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=5543>

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Uyghur Political Prisoners Mehbube Ablesh's and Abdulghani Memetemin's Prison Sentences Expire, 18 October 2011, available at: <http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingl=163986>

⁶⁸ Sources for Dilshat Perhat:

Amnesty International (AI), China Convicts Uyghur Web Managers on State Security Charges, 30 July 2010, available at:

www.amnesty.org/en/news-and-updates/china-convicts-uyghur-web-managers-state-security-charges-2010-07-30

Committee to Protect Journalists (CPJ), China Sets Prison Terms for 3 Uyghur Web Managers, 2 August 2010, available at:

<http://cpj.org/2010/08/china-sets-prison-terms-for-3-uyghur-web-managers.php>

Radio Free Asia (RFA), Call for Uyghurs’ Release, 15 December 2009, available at:

<http://www.rfa.org/english/news/uyghur/uyghurrelease-12152009110742.html>

Reporters without Borders, Jail terms for three Uyghur webmasters accused of jeopardising state security, 2 August 2010, available at:

<http://en.rsf.org/china-uyghur-journalist-and-website-24-07-2010.38016.html>

The New York Times, China Imprisons 3 Men Who Maintained Uyghur Web Sites, 30 July 2010, available at: www.nytimes.com/2010/07/31/world/asia/31china.html?_r=1

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Dilshat Perhat” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2009-00449), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7644>

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Xinjiang Court Imposes Prison

Sentences on Uyghur Journalist and Webmasters, 7 August 2010, available at:

<http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=144798>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Uyghur American Association Strongly Condemns the Sentencing of Three Uyghur Webmasters, 29 July 2010, available at:

www.uyghuramerican.org//articles/4861/1/Uyghur-American-Association-strongly-condemns-the-sentencing-of-three-Uyghur-webmasters/index.html

World Uyghur Congress (WUC), WUC Strongly Denounces the Sentencing of Three Uyghur Webmasters, 29 July 2010, available at: <http://www.uyghurcongress.org/en/?p=3617>

⁶⁹ Sources for Nureli Obul:

Amnesty International (AI), China Convicts Uighur Web Managers on State Security Charges, 30 July 2010, available at:

www.amnesty.org/en/news-and-updates/china-Convicts-uighur-web-managers-state-security-charges-2010-07-30

Committee to Protect Journalists (CPJ), China Sets Prison Terms for 3 Uighur Web Managers, 2 August 2010, available at:

<http://cpj.org/2010/08/china-sets-prison-terms-for-3-uighur-web-managers.php>

Radio Free Asia (RFA), Call for Uyghurs' Release, 15 December 2009, available at:

<http://www.rfa.org/english/news/uyghur/uyghurrelease-12152009110742.html>

Reporters without Borders, Jail terms for three Uyghur webmasters accused of jeopardising state security, 2 August 2010, available at:

<http://en.rsf.org/china-uyghur-Journalist-and-website-24-07-2010,38016.html>

The New York Times, China Imprisons 3 Men Who Maintained Uighur Web Sites, 30 July 2010, available at: www.nytimes.com/2010/07/31/world/asia/31china.html?_r=1

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for "Nureli" in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2010-00106), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7814>

U.S Congressional-Executive Commission on China, Xinjiang Court Imposes Prison Sentences on Uyghur Journalist and Webmasters, 7 August 2010, available at:

<http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=144798>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Uyghur American Association Strongly Condemns the Sentencing of Three Uyghur Webmasters, 29 July 2010, available at:

www.uyghuramerican.org//articles/4861/1/Uyghur-American-Association-strongly-condemns-the-sentencing-of-three-Uyghur-webmasters/index.html

World Uyghur Congress (WUC), WUC Strongly Denounces the Sentencing of Three Uyghur Webmasters, 29 July 2010, available at: <http://www.uyghurcongress.org/en/?p=3617>

⁷⁰ Sources for Nijat Azat:

Amnesty International (AI), China Convicts Uighur Web Managers on State Security Charges, 30 July 2010, available at:

www.amnesty.org/en/news-and-updates/china-convicts-uighur-web-managers-state-security-charges-2010-07-30

Committee to Protect Journalists (CPJ), China Sets Prison Terms for 3 Uighur Web Managers, 2 August 2010, available at:

<http://cpj.org/2010/08/china-sets-prison-terms-for-3-uighur-web-managers.php>

Radio Free Asia (RFA), Call for Uyghurs' Release, 15 December 2009, available at:

<http://www.rfa.org/english/news/uyghur/uyghurrelease-12152009110742.html>

Reporters Without Borders, Jail terms for three Uyghur webmasters accused of jeopardising state security, 2 August 2010, available at:

<http://en.rsf.org/china-uyghur-journalist-and-website-24-07-2010.38016.html>

The New York Times, China Imprisons 3 Men Who Maintained Uighur Web Sites, 30 July 2010, available at: www.nytimes.com/2010/07/31/world/asia/31china.html?_r=1

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for "Nijat Azat" in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2010-00253), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7963>

U.S Congressional-Executive Commission on China, Xinjiang Court Imposes Prison Sentences on Uyghur Journalist and Webmasters, 7 August 2010, available at:

<http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingle=144798>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Uyghur American Association Strongly Condemns the Sentencing of Three Uyghur Webmasters, 29 July 2010, available at:

www.uyghuramerican.org//articles/4861/1/Uyghur-American-Association-strongly-condemns-the-sentencing-of-three-Uyghur-webmasters/index.html

World Uyghur Congress (WUC), WUC Strongly Denounces the Sentencing of Three Uyghur Webmasters, 29 July 2010, available at: <http://www.uyghurcongress.org/en/?p=3617>

⁷¹ Sources for Gheyret Niyaz:

Amnesty International (AI) Urgent Action, China: Uighur journalist detained, risks torture, ASA 17/060/2009, 30 October 2009, available at:

<https://www.amnesty.org/en/library/info/ASA17/060/2009/en>

Amnesty International (AI), China holds Uighur journalist over Xinjiang unrest remarks, 30 October 2009, available at:

<https://www.amnesty.org/en/news-and-updates/news/china-holds-uighur-journalist-over-xinji>

[iang-unrest-unrest-remarks-20091030](#)

Amnesty International (AI), China sentences Uighur journalist to 15 year prison term, 23 July 2010, available at:

<https://www.amnesty.org/en/news-and-updates/china-sentences-uighur-journalis-15-year-prison-term-2010-07-23>

BBC, Chinese court 'jails Uighur journalist', 23 July 2010, available at:

<http://www.bbc.co.uk/news/world-asia-pacific-10744133>

Chinese Human Rights Defenders, Respect Freedom of Expression, Release Xinjiang Journalist Hailaite Niyazi, 30 July 2010, available at:

<http://chrnet.org/2010/07/30/a-Public-letter-by-chinese-citizens-urging-the-release-of-uyghur-journalist-hailaite-niyazi/>

Committee to protect Journalists (CPJ), China sentences Uighur journalist to 15 years, 26 July 2010, available at:

<https://www.cpj.org/2010/07/china-sentences-uighur-journalist-to-15-years.php>

Dui Hua Foundation's summer 2010 Dialogue Newsletter, Official Responses to Uyghur Prisoner List Reveal Information on Unique Cases, available at:

http://www.duihua.org/work/publications/nl/dialogue/nl_txt/nl40/nl40_3a.htm

Freedom House, Journalist's Sentencing Signals Continued Suppression of Uighurs, 26

July 2010, available at: <http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=70&release=1214>

Human Rights in China (HRIC), Heavy Prison Term for Uyghur Advocate of Inter-ethnic Understanding, 23 July 2010, available at: <http://www.hrichina.org/content/832>

Reporters Without Borders, Jail terms for three Uyghur webmasters accused of jeopardising state security, 2 August 2010, available at:

<http://en.rsf.org/china-uyghur-Journalist-and-website-24-07-2010,38016.html>

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for "Gheyret Niyaz" in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2009-00448), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7643>

U.S Congressional-Executive Commission on China, Xinjiang Court Imposes Prison Sentences on Uyghur Journalist and Webmasters, 7-August 2010, available at:

<http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=144798>

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Journalist Gets 15 Years, 22 July 2010, available at:

<http://www.rfa.org/english/news/uyghur/trial-07222010152945.html>

Radio Free Asia (RFA), Fate of Uyghur Journalist 'Unknown', 1 November 2010, available at: <http://www.rfa.org/english/news/uyghur/journalist-11012010101314.html>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Uyghur journalist and webmaster Gheyret Niyaz sentenced to 15 years, 23 July 2010, available at:

<http://uhrp.org/articles/4022/1/Uyghur-journalist-and-webmaster-heyret-Niyaz-sentenced-to-15-years-/index.html>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Uyghur American Association commends Chinese intellectuals and human rights groups for their appeals on behalf of Uyghur journalist and blogger Gheyret Niyaz, 30 July 2010, available at: <http://www.uyghuramerican.org/articles/4874/1/Uyghur-American-Association-commends-Chinese-intellectuals-and-human-rights-groups-for-their-appeals-on-behalf-of-Uyghur-journalist-and-blogger-Gheyret-Niyaz/index.html>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Internet reopened in East Turkestan, but Uyghur webmasters and bloggers remain behind bars, 14 May 2010, available at: <http://www.uhrp.org/articles/3782/1/Internet-reopened-in-East-Turkestan-but-Uyghur-webmasters-and-bloggers-remain-behind-bars-/index.html>

World Uyghur Congress (WUC) Press Release, WUC Condemns 15-year Sentence Handed Down to Uyghur Journalist and Website Editor Gheyret Niyaz, 24 July 2010, available at: <http://www.uyghurcongress.org/en/?p=3468>

⁷² Sources for Gulmira Imin and another four Uyghur website moderators:

U.S Congressional-Executive Commission on China Entry for “Gulmire Imin” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2010-00238), available at: <http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7948>

Committee to protect Journalists (CPJ), “Imprisoned Journalists in 2010”, 1 December 2010, available at: <http://www.cpj.org/imprisoned/2010.php#china>

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Web Moderators Get Life, 08 August 2010, available at: <http://www.rfa.org/english/news/uyghur/sentence-08082010190802.html>

RFA Unplugged, The Fight For Justice Takes Its Toll On Uyghur Family, 10 September 2010, available at:

<http://www.rfaunplugged.org/2010/09/01/the-fight-for-justice-takes-Its-toll-on-uyghur-family/>

China Central Television (CCTV), The July 5 Riot from Start to Finish, documentary, available on Youtube at

<http://www.youtube.com/watch?v=2a0kN7E4GIA&feature=related> (part 1),

<http://www.youtube.com/watch?v=JaObRk6h7jY&feature=related> (part 2) and

<http://www.youtube.com/watch?v=xlg6sI7G3qA&feature=related> (part 3)

⁷³ Sources for Mehbube Ablesh:

Committee to protect Journalists (CPJ), Imprisoned Journalists in 2010, 1 December 2010,

available at: <http://www.cpi.org/imprisoned/2010.php#china>

Dui Hua Foundation's summer 2010 Dialogue Newsletter, Official Responses to Uyghur Prisoner List Reveal Information on Unique Cases, available at:

http://www.duihua.org/work/publications/nl/dialogue/nl_txt/nl40/nl40_3a.htm

International PEN, Uyghur journalist and writer detained, 2008, available at:

<http://www.pen.org/viewmedia.php/prmMID/2891/prmID/1691>

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Radio Worker Sacked, Detained, 08 September 2008, available at:

<http://www.rfa.org/english/news/uyghur/radio-09082008141404.html?searchterm=None>

Radio Free Asia (RFA), Tutqun mehbube ablesh heqqide toluqlima melumatlar, 8 September 2008, available at:

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Mehbube Ablesh” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2008-00545), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7043>

http://www.rfa.org/uyghur/xewerler/tepsili_xewer/mehbube-ablesh-turmid2-09082008205116.html/story_main?encoding=latin

U.S. Congressional-Executive Commission on China, New Information Released on Uyghur Political Prisoners Mehbube Ablesh and Omer Akchi, Commission Analysis, 11 October 2010, available at:

<http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingle=146218>

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Uyghur Political Prisoners Mehbube Ablesh's and Abdulghani Memetemin's Prison Sentences Expire, 18 October 2011, available at: <http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.phpd?showsingle=163986>

⁷⁴ Sources for Memetjan Abdulla:

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Memetjan Abdulla” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2009-00384), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7579>

Radio Free Asia (RFA), Uyghurbiz' tor békitining bashqurghuchisi muhemmet Abdulla iz -Déreksiz-yoqap-ketken, 26 August 2009, available at:

http://www.rfa.org/uyghur/xewerler/tepsili_xewer/uyghurbiz-tor-bet-bashqurghuchisi-08262009182307.html?encoding=latin

Radio Free Asia (RFA), Xitay, selkin tor békitining bashqurghuchi muhemmetjan abdu llan ing péyigha chüshken, 02 September 2009, available at:

http://www.rfa.org/uyghur/xewerler/tepsili_xewer/muhammed-abdulla-tutuldi-09022009173319.html?encoding=latin

Radio Free Asia (RFA), Terjiman we muxbir muhemmetjan abdu llaning muddetsiz qamaqqa hokum qilinghanliqi melum bolmaqta, 20 December 2010, available at:

http://www.rfa.org/uyghur/xewerler/tepsili_xewer/terjiman-mixbir-12202010165808.html?encoding=latin

Radio Free Asia (RFA), “Uyghur Journalist Handed Life Term”, 21 December 2010, available at:

<http://www.rfa.org/english/news/uyghur/journalist-12212010162519.html>

NY Times, Editor Said to Get Life Sentence for Uighur Reports, 24 December 2010,

available at: http://www.nytimes.com/2010/12/25/world/asia/25uighur.html?_r=1

AFP, Uighur group protests trial of Xinjiang journalist, 24 December 2010, available at:

<http://news.asiaone.com/News/Latest%2BNews/Asia/Story/A1Story20101224-254653.html>

⁷⁵ Sources for Memet Turghun Abdulla:

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry-for-“Memet Turghun Abdulla” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2010-00227), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7937>

Uyghur American Association (UAA) Press Release, Internet reopened in East Turkestan But Uyghur webmasters and bloggers remain behind bars, 14 May 2010, available at:

<http://www.uyghurcongress.org/en/?p=2343>

⁷⁶ For these cases see:

See Jean-François Julliard, Secretary-General, **Reporters Without Borders for Press**

Freedom (online), “Open Letter to the Xinjiang’s party secretary,”

(<http://en.rsf.org/china-open-letter-to-the-xinjiang-s-20G05-2010.37527.html>), May 20, 2010;

Uyghur American Association (online), “Internet Reopened in East Turkestan, But Uyghur Webmasters and Bloggers Remain Behind Bars” (press release),

(www.uyghuramerican.org/articles/4597/1/Internet-reopened-in-East-Turkestan-but-Uyghur-webmasters-and-bloggers-remain-behind-bars/index.html), May 14, 2010; “Call for

Uyghurs’ Release” (www.rfa.org/english/news/uyghur/uyghurrelease-12152009110742.html),

Radio Free Asia (online), Dec. 15, 2009. See-also, **U.S. Congressional-Executive**

Commission on China (online), “Xinjiang Court Imposes Prison Sentences on Uyghur Journalists and Webmasters” Commission Analysis)

(www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=144798), posted on Aug. 19, 2010.

⁷⁷ Sources for Nurmuhemmet Yasin:

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Nurmuhemmet Yasin” in

Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2005-00018), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=5511>

Uyghur PEN, Biography of Nurmuhemmet Yasin, available at:

<http://www.uyghurpen.org/author-biography.html>

Radio Free Asia, Yazghuchi nurmuhemmet yasingha idiyisini yaxshi özgertmigenlik' Sewebi ilen jaza bérilgen, 17 March 2009, available at:

http://www.rfa.org/uyghur/xewerler/tepsili_xewer/nurmemet-yasin-yawa-kepter-03182009023521.html?encoding=latin

⁷⁸ Sources for Tursunjan Hezim:

U.S. Congressional-Executive Commission on China Entry for “Tursunjan Hezim” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2011-00234), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=8728>

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Historian Given 7 Years, 6 March 2011, available at:

<http://www.rfa.org/english/news/uyghur/tursunjanhezimG03062011164000.html>

Committee to Protect Journalists (CPJ), Uighur website editor sentenced in secret in China, 10 March 2011,

<http://www.cpj.org/2011/03/uighur-website-editor-sentenced-In-secret-in-china.php>

World Uyghur Congress (WUC) Press Release, WUC Condemns 15 year Handed Down to Uyghur Journalist and Website-Editor Gheyret Niyaz, 24 July 2010, available at:

<http://www.uyghurcongress.org/en/?p=3468>

⁷⁹ Sources for Abduhelil Zunun:

Gesellschaft für bedrohte Völker (GfbV), Kein Freibrief für Menschenrechtsverletzungen an Uiguren, Tibetern und Falun Gong-Anhängern, Dezember 2001, available at:

<http://peuplesGmenacés.ch/pdf/02G02G032.pdf>

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Abduhelil Zunun” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2005-00287), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=5796>

Uyghur Human Rights Project (UHRP), World Human Rights Day - Remember Abduhelil Zunun, 9 December 2005, available at:

<http://www.uhrp.org/articles/90/1/World-Human-Rights-DayRemember-Abduhelil-Zunun/World-Human-Rights-Day-Remember-Abduhelil-Zunun.html>

⁸⁰ Sources for Abdughani Imin and Obulkasim Abliz:

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for Abdughani Imin” in Political

Prisoner Database (CECC Record Number: 2005-00159), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=5656>

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Obulkasim Abliz” in

Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2005-00160), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=5657>

⁸¹ Sources for Abdulla Jamal:

Amnesty International (AI), Fear of Torture and Ill Treatment – Abdulla Jamal, 16 June 2005, available at:

www.amnesty.org/en/library/asset/ASA17/019/2005/en/7a50cbc5-d4d9-11dd-8a23-d58a49c0d652/asa170192005en.html

Radio Free Asia, Uyghur Youths, Teacher Detained After School Brawl, Residents Say, 21 June 2005, available at:

www.rfa.org/english/uyghur/uyghur_clash-20050621.html?searchterm=None

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for Abdulla Jamal” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2005-00097), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=5593>

⁸² Sources for Ablikim Abdureyim:

Amnesty International (AI), China urged to release Uighur activist allegedly tortured in prison, 20 December 2010, available at:

<https://www.amnesty.org/en/news-and-updates/china-urged-release-uyghur-activist-allegedly-tortured-prison-2010-12-20>

Human Rights in China (HRIC), HRIC Condemns Rights Violations and Harsh Sentence in Ablikim Abdureyim’s Case, 19 April 2007, available at:

http://www.hrichina.org/public/contents/press?revision_id=35969&item_id=35965

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Dissidents Sons Detained Beaten in Front of Own Children, 1 June 2006, available at: http://www.rfa.org/english/news/uyghur_kadeer-20060601.html

U.S Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Ablikim Abdureyim” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2006-00084), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=5885>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Son of Rebiya Kadeer sentenced to nine years in prison on charges of "secessionism", 17 April 2007, available at:

<http://www.uyghuramerican.org/articles/873/1/Son-of-Rebiya-Kadeer-sentenced-to-nine-years-in-prison-on-charges-of-quotsecessionismquot/index.html>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Rebiya Kadeer's imprisoned son in

urgent need of medical treatment, 11 December 2007, available at:

<http://www.uyghuramerican.org/articles/1308/1/Rebiya-Kadeers-imprisoned-son-in-urgent-need-of-medical-treatment/index.html>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Chinese embassy spokesman responds to concerns about the health of Rebiya Kadeer's son in Voice of America news report, 17 December 2007, available at:

<http://www.uyghuramerican.org/articles/1317/1/Chinese-embassy-spokesman-responds-to-concerns-about-the-health-of-Rebiya-Kadeers-son-in-Voice-of-America-news-report/index.html>

⁸³ Sources for Alim Abdureyim:

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Alim Abdureyim” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2006-00071), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=5872>

Uyghur American Association (UAA) Press release, Rebiya Kadeer’s son sentenced to seven years; another fined; another feared tortured, 27 November 2007, available at:

<http://www.uyghuramerican.org/articles/680/1/Rebiya-Kadeers-son-sentenced-to-seven-years-another-fined-another-feared-tortured/rabiye.html>

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Dissidents Sons Detained, Beaten in Front of Own Children, 1 June 2006, available at: http://www.rfa.org/english/news/uyghur_kadeer-20060601.html

⁸⁴ Sources for Ekberjan Jamal:

Radio Free Asia, Ekberjan jamal-sumrugh téléviziyisi we erkin asiya radiyosigha uchuryetküzgini üçhün 10 yilliq késilgen, 13 April 2009, available at:

http://www.rfa.org/uyghur/xewerler/tepsili_xewer/ekperjan-jamal-kesilgen-04142009064714.html?encoding=latin

Radio Free Asia, Ekberjan jamalning késilishi we uning nöwettiki ehwali, 14 April 2009, available at:

http://www.rfa.org/uyghur/xewerler/tepsili_xewer/ekperjan-jamal-kesilishi-04152009161240.html?encoding=latin

Radio Free Asia, Youth jailed for Alleged Separatism, 15 April 2009, available at:

www.rfa.org/english/news/uyghur/uyghurcellphone-04142009165038.html

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Ekberjan Jamal” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2009-00193), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7386>

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Xinjiang Authorities Block, Punish

Free Expression, Commission Analysis, 2 July 2009, available at:
<http://www.cecc.gov/pages/virtualAcad/index.php?showsingle=119624>

⁸⁵ Sources for Halmurat Imin:

Radio Free Asia (RFA), Uyghurs Targeted Amidst Reform Call, 28 February 2011, available at: <http://www.rfa.org/english/news/uyghur/reform-02282011114853.html>

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Halmurat Imin” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2011-00215), available at:
<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=8709>

Uyghur American Association (UAA) Press Release, Chinese fears of “Jasmine Revolution” unrest lead to clampdown on Uyghurs, 01 March 2011, available at:
<http://www.uyghuramerican.org/articles/5518/1/Chinese-fears-of-Jasmine-Revolution-unrest-lead-to-clampdown-on-Uyghurs/index.html>

⁸⁶ The information on Isa’s case was obtained by the WUC from sources in East Turkestan.

⁸⁷ Source for Mamatali Ahat:

Uyghur American Association (UAA) Press Release, Two Uyghurs Sentenced to Lengthy Prison Terms for Peaceful Political Expression, 16 March 2009, available at:
www.uyghuramerican.org/articles/2651/1/Two-Uyghurs-in-Hotan-sentenced-to-lengthy-prison-terms-for-peaceful-political-expression/index.html

⁸⁸ Sources for Nurhahmat Yusup:

Amnesty International (AI), People's Republic of China: Gross Violations of Human Rights in the Xinjiang Uighur Autonomous Region - Prisoner Profiles, ASA 17/36/99, October 1999, available at:

<https://www.amnesty.org/en/library/asset/ASA17/036/1999/en/d87e607d-e04c-11dd-b049-c56b318da40f/asa170361999en.html>

U.S. Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Nurhahmat Yusup” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2010-00091), available at:
<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7799>

⁸⁹ Sources for Tursunjan Heseni:

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Grandfather Detained, 30 Oct. 2009; available at:
www.rfa.org/english/news/uyghur/detained-10302009202838.html?searchterm=None

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Grandfather Detained, 30 Oct. 2009; available at:

www.rfa.org/english/news/uyghur/detained-10302009202838.html?searchterm=None

Radio Free Asia (RFA), New Son for Uyghur Woman, 13 Feb. 2009, available at:

www.rfa.org/english/news/uyghur/uyghurbirth-02132009165136.html?searchterm=None

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Woman Released, Without Forced Abortion, 18 Nov. 2008, available at:

www.rfa.org/english/news/uyghur/release-11182008110804.html?searchterm=None

Radio Free Asia (RFA), Uyghur Woman Found, Facing Abortion, Nov. 17, 2008, available at:

www.rfa.org/english/news/uyghur/abortion-11172008112655.html

U.S Congressional-Executive Commission on China, Annual Report 2009, 10 Oct. 2009, available at: www.cecc.gov/pages/annualRpt/annualRpt09/CECCannRpt2009.pdf.

pp. 262-263

U.S Congressional-Executive Commission on China, Entry for “Tursunjan Hesén” in Political Prisoner Database (CECC Record Number: 2009-00444), available at:

<http://ppd.cecc.gov/QueryResultsDetail.aspx?PrisonerNum=7639>



World Uyghur Congress (WUC)
Adolf-Kolping-Str. 9 | 80336 Munich, Germany
Tel: +49 89 54321999 | Fax: +49 89 54349789
contact@uyghurcongress.org | www.uyghurcongress.org
Twitter @UyghurCongress | Facebook www.facebook.com/uyghurcongress